

# DESIGN



Inspirations

JAPAN

by Dentsply Sirona Treatment Centers

# Dear Readers,

## ご挨拶

デンタルユニットは診療室そのものをつかさどり、治療において重要な役割を担うため、デンツプライシロナでは敬意を込めてトリートメントセンターと呼んでいます。ゆえに歯科医師や患者さんが求めるさまざまな要求を満たすデザインと機能性を備えていなければなりません。

トリートメントセンターの定義は、優れた品質を持続し、テクノロジーが発達した未来に対応できること。すべてのディテールで有益な相互作用が成立するように、機能、安らぎ、美しさを調和させています。その結果、効果的かつ安全性の高い革新的なソリューションを、歯科医療にもたらしているのです。

私たちはお客様に寄り添い、その声に耳を傾けることで、これらを達成してまいりました。お客様とのコミュニケーションこそ、デンツプライシロナのデザインプロセスの基本。ディスカッションを重ね、ご要望や目的を共有し、提供するプロダクトに結びつけていきます。

トリートメントセンターが、機能的でありながら感情に訴えるデザインである理由。それは世界のトレンドから地域特性の研究まで、あらゆる側面を徹底的に調査し、すべてをカバーした上に成り立っているからでしょう。だからこそ世界各国の治療技術や歯科医院のインテリアに

組み込むことができ、歯科医療を素晴らしい未来へと導けるのです。

『DSIGN』では、志の高い歯科医療従事者たちの理念が体现されたさまざまなクリニックを紹介しています。インテリアデザインやゾーニング、色使いなど、個性豊かな空間の数々は、皆様の感性を大いに刺激するのではないのでしょうか。どのクリニックにも共通するのは、よりよい歯科医療を目指す情熱です。

皆様にお楽しみいただけますように。感謝と敬意を込めて。



プロダクト マネージメント ディレクター  
**Susanne Schmidinger**

# Installation Examples in the World

## 世界のデンタルクリニック

多くの歯科医師に選ばれる  
デンツプライシロナのトリートメントセンター。  
他の追随を許さない優れたデザインと機能は、  
世界のデンタルクリニックにおいても、  
欠かせない存在となっている。



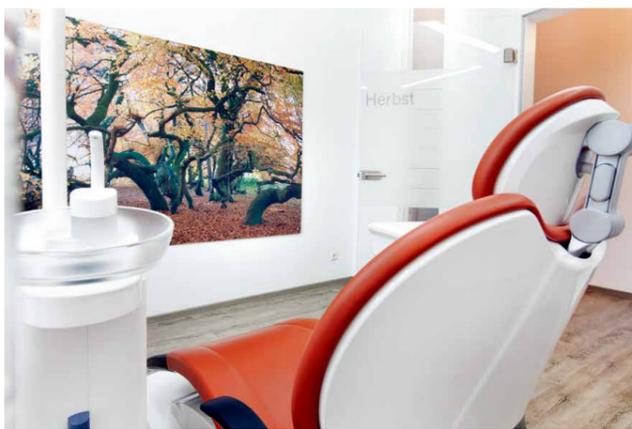
Clinic: Dr. Michael Langhammer, ULM, GERMANY



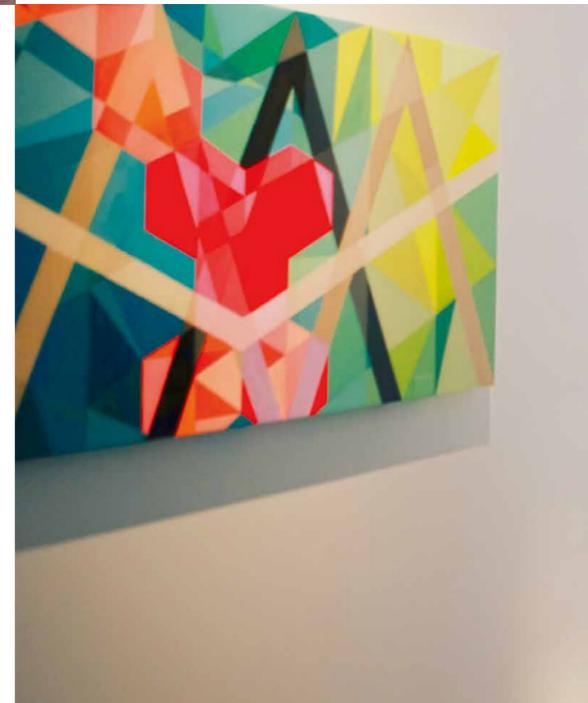
Clinic: Dr. Dr. Guido Lier, HILDESHEIM, GERMANY



Clinic: Shahin Rostami & Dr. Pour Saba, FÜRSTENFELDBRUCK, GERMANY



© Clinic: Dr. Johannes Schinz, BAD NENNDORF, GERMANY



Clinic: Midtown Dental, CALIFORNIA, USA

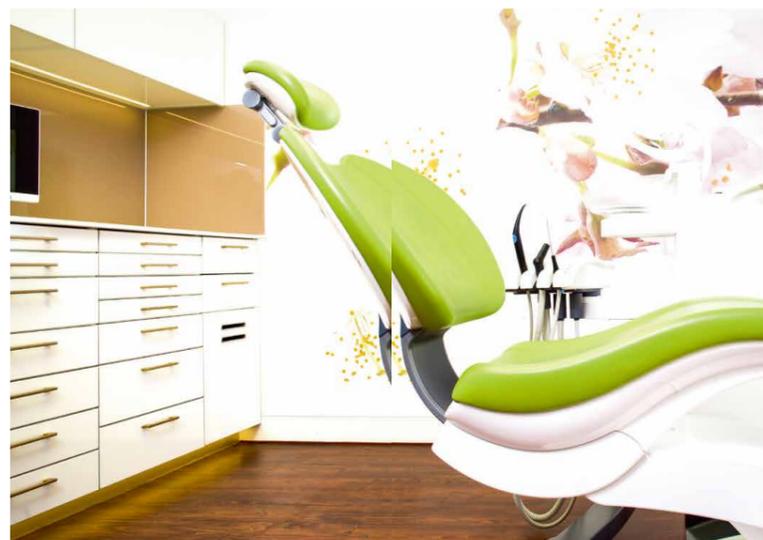




Clinic: Shahin Rostami & Dr. Pour Saba, FÜRSTENFELDBRUCK, GERMANY



Clinic: Dr. Michael Kratschmayr and Oxana Skardov, BADEN-BADEN, GERMANY



Clinic: Shahin Rostami & Dr. Pour Saba, FÜRSTENFELDBRUCK, GERMANY



Clinic: Dr. Bernd Kottmann, M.SC., MUNICH, GERMANY

# Contents

- 1 ご挨拶
- 2 世界のデンタルクリニック
- 10 Contents
- 12 トリートメントセンターに込められたドイツのクラフトマンシップ

## 15 理想を叶える歯科医院のデザイン

## 16 HONEST MATERIALS

スマイルプラン オーク歯科クリニック / 大阪府茨木市  
内山歯科クリニック / 東京都港区  
大岸歯科クリニック / 宮城県仙台市  
アールデンタルオフィス / 福岡県筑紫郡



## 34 PURE SHAPES

名取歯科医院 / 福岡県久留米市  
石井デンタルクリニック / 静岡県浜松市  
土屋デンタルクリニック 大分オフィス / 大分県大分市



## 48 CHEERFUL PATTERNS

中田歯科クリニック / 京都府京都市  
くすの木こども歯科クリニック / 東京都江戸川区  
かしわお歯科クリニック / 北海道札幌市



## 62 EMBELLISHED ELEGANCE

M デンタルオフィス / 広島県広島市  
うらら歯科医院 / 兵庫県神戸市



72 革新的な歯科医療を実現する  
デンツプライシロナのトリートメントセンター

74 歯科医師にとって重要なフィロソフィー  
松下歯科医院院長 松下至宏先生

78 デンツプライシロナ日本国内拠点

# German Craftsmanship in Treatment Centers

## トリートメントセンターに込められた ドイツのクラフトマンシップ

EUにおけるデンツプライシロナのトリートメントセンターのシェアは約40%。

歯科医療従事者・患者さんを最優先に考えられた機能美は、多くの人々に支持される理由となっている。

その背景にあるのは、ドイツの技術者たちによるクラフトマンシップ。

開発・設計に携わった Thomas Nack と Andreas Ries の言葉を通して、  
トリートメントセンターの真価に迫る。

操作性と患者さんの快適性を追求した「デザインコンセプト」、人間工学に基づいた「エルゴノミクス プログラム」、スタンダードプリコーションの確立を目指した「ハイジーン コンセプト」、堅牢で高い耐久性を実現した「安心・安全性コンセプト」という4つの基本コンセプトをベースに構築される、デンツプライシロナのトリートメントセンター。トリートメントセンター部門設計・開発担

当部長 Thomas Nack (以下 **TN**) と、ブルスプロダクトデザインの執行役員 Andreas Ries (以下 **AR**) が、トリートメントセンターの製作背景や込められた思いについて語っていく。

—— 歯科治療におけるトリートメントセンターの役割とは？

**TN** トリートメントセンターは、歯科治療において中核的な存在となっています。歯科医師にとっては治療のキープレ

イヤーですし、患者さんにとっては今後の治療における期待値の判断材料になっているのではないのでしょうか。初診時の印象は、快適な治療を受けられるか否かを判断するものですからね。結果として、歯科医師にも患者さんにも治療へ大きな貢献をしてくれていますよ。

—— 歯科医師と患者さんにとって、トリートメントセンターのデザインはどのようなものであるべきだと考えましたか？



**THOMAS NACK**

ヴァイスバーデン応用科学大学にて物理学学位取得。1990～99年トリートメントセンターの生産と生産計画に係わる職務を歴任。99～2006年トリートメントセンター部の品質保証部門長、2006年よりデンツプライシロナ社トリートメントセンターの設計・開発担当責任者に就任。



**ANDREAS RIES**

ダルムシュタット応用科学大学とオッフェンバッハ造形芸術大学にて、工業デザインの学位を取得。1984年Dieter Fornoff、Eberhard Klettの両氏とともにブルスプロダクトデザインを設立。2005年よりデンツプライシロナ社のプロダクトデザイン、プロジェクト管理、戦略コンサルティングを担う。

**AR** 安全性が体感でき、信頼感を得られるようなデザインにしたいと考えました。ゆえに威圧感を与えないよう配慮しています。患者さんは腰をかけたらずぐに、快適さと安心感を得られるはずですよ。

私たちの役目はあらゆる面においてデザインのポテンシャルを上手に引き出すこと。トリートメントセンターの品質の高さを患者さんはひと目見ただけで認識できる、というのは目標のひとつですね。例えばチェアのシートは見るからに快適そうで、すぐにでも座ってみたいくなるでしょう。肘掛けも同様。実際にフィットすることはもちろんですが、触れる前から感触の良さが伝わるデザインでなければなりません。

—— デザインする上で、特に難しかった点を教えてください。

**AR** 数の多いコンポーネントをそれぞれ

機能させながら、容易な移動を可能とすることですね。トリートメントセンターは非常に複雑な構造で、各コンポーネントは独自の働きをもっています。だからすべてを調和させるのは難しいんですよ。同時に、個々のエレメントのスタイルと動きの滑らかさを表現することも意識しています。独自のシルエットを創り出す、曲線を強調した動的なスタイルですね。リクライニングの表面とリフトチェアで決まるチェアの輪郭線は、親しみのあるラインを描いています。

**TN** 快適な治療環境を実現させるため、どのモデルも歯科治療とサポートツールに合わせた個性をもっています。しかし、異なるモデルが同じクリニックに設置されていたとしても、基本コンセプトは同じ。デンツプライシロナならではの機能美を実感していただけるでしょう。

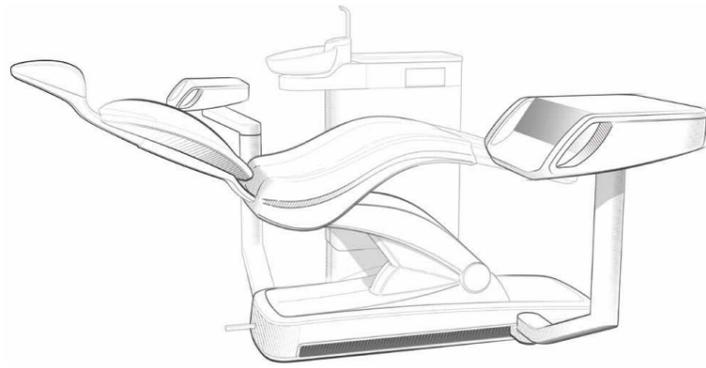
—— 他のメーカーのユニットに対し、デンツプライシロナのトリートメントセンターがもつ優位性とは何でしょうか？

**AR** 開発にあたり、第一に考えるのは機能。そして次に、その機能をエレガントなデザインに落とし込んでいきます。デザインは明確な目的をもつことに加え、感性に訴える必要がある。技術的に優れているだけではなく、見る人をワクワクさせなければなりません。デンツプライシロナの製品は、世界各国で支持されています。このことから、美しさと高い機能性は完璧な基準で触発しあうことが必要だと分かりますね。クリニックのスタイルや内装は多種多様ですが、審美的観点からまとめ上げた製品は、すべての診療室にうまく溶け込むんですよ。

—— 開発と設計プロセスには、どんなスタッフが関わっているのですか？



ドイツの Bensheim にあるデンツプライシロナの工場。ここでトリートメントセンターは製造されています。



Andreas Riesが描いたトリートメントセンターのアイデアスケッチ。

**TN** 新しいトリートメントセンターの開発には、多数の技術専門家がチームを構成して取り組んでいます。デザインや機能はプロダクトマネージャーが中心となり、個々のコンポーネントや部品の設計はデザイナーとハードウェア・ソフトウェア開発者が共同で担当。その他にも、電気技術者、科学技術者、補助エレメントや水回りユニットのスペシャリストなど、各領域の専門家が携わっています。最終的には、これらの装置が組み上が

るかどうかをフィッターが確認。販売後はアフターサービス部門のスタッフが細やかなサポートを担っています。  
**— デンツプライシロナの製品は「持続性」を基本としています。**  
**TN** トリートメントセンターは高価ですから、機能もデザインも寿命が長くなければなりません。要するに問題なく長期間使用でき、普遍的なデザインであることが重要なんです。ですから、リニューアルをしたとしても、スタイルエレメント

や動作モードの大きな変更は行わないようにしています。  
**AR** デザインは“時代を超える”とよく言われますね。これを達成するためには、トレンドに目を奪われてはいけません。デザインはどうしても時代精神を反映してしまいます。しかし使用に即した価値が必要ですから、革新性と独自性を見失ってはならないんですよ。長きにわたり魅力を感じていただける形状を構築することこそ、私たちの目標です。デンツプライシロナでは、流れるようにダイナミックなフォルムを特徴とするデザインを確立してきました。時を経ても色褪せないデザイン。そこに主眼を置き、すべての製品を設計しています。  
**TN** 「コピーされる危惧は？」ともよく聞かれるのですが、トリートメントセンターのデザイン自体をまねることは正直可能でしょう。しかし、デザインと機能が織りなす融合を完璧にコピーすることは不可能に近いのです。コピーされる人間は、明らかに一歩進んだ人間である。これは、トリートメントセンターにおいても同義といえます。



# Design of Dental Clinics that Fulfills Dreams

## 理想を叶える歯科医院のデザイン

歯科医師が掲げる夢と理想は、  
 デンタルクリニックのデザインに体现されている。  
 空間を「HONEST MATERIALS」、「PURE SHAPES」、  
 「CHEERFUL PATTERNS」、「EMBELLISHED ELEGANCE」という  
 4つのスタイルに分類し、  
 歯科医療にかける彼らの思いを探っていく。



工場内でトリートメントセンターのパーツを確認するThomas NackとAndreas Ries。

# HONEST MATERIALS

— 自然な素材感 —

ナチュラルな素材の風合いと現代のテクノロジーが融合した、  
時代にとらわれないインテリアデザイン。  
空間からは、親しみや安らぎが感じられる。



WOOD



WINE RED



ANTIQUÉ GOLD



PACIFIC



GREEN MOSS



PLATINUM

**WOOLEN BLANKET**  
"Dotto" is marked with dots of red, blue, and black woolen yarn on a white cotton base fabric. The unique pattern is identical on both sides of the blanket and creates an extraordinary feel.  
www.e15.com



**FLOOR LAMP**  
The original "CROIZ" lamp features a contemporary plain esthetic, with no superfluous elements.  
**DESIGNER** Domus Licht  
www.domus-licht.de

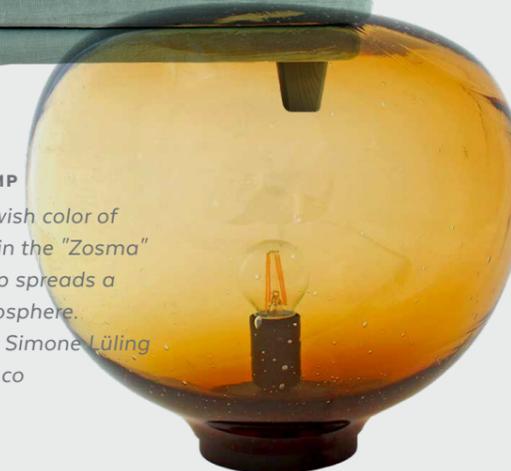


**FRUIT BOWL**  
Not apparent at first glance - the design is reminiscent of a wooden sculpture, but proves to be a fruit bowl.  
**DESIGNER** Mark Braun  
Available at E15



**SOFA**  
"Gimme more" is available in different models. Colors and materials are reminiscent of nature.  
**DESIGNER** Moroso  
www.moroso.it

**TABLE LAMP**  
The yellowish color of the glass in the "Zosma" table lamp spreads a cozy atmosphere.  
**DESIGNER** Simone Lüling  
www.eloa.co



HONEST MATERIALS #1

笑顔に満ちた賑やかな空間で  
患者さんを温かく迎え入れる

スマイルプラン オーク歯科クリニック  
大阪府茨木市



1.受付から診療室へ続く廊下。カフェのようなディスプレイが施されている。2.飾られているハットにはよく見ると、大白歯や歯ブラシといった歯科モチーフのピンバッジが。3.クリニックの名称を描いたサインボードも。4.ヴィンテージ調のアイテムを随所に用いて、空間を演出。





フィロソフィーの実現は  
歯科医師人生をも充実させる

診療を心待ちにする歯科医院。「スマイルプラン オーク歯科クリニック」をひとりで表すのなら、この言葉がふさわしい。初めて訪れた患者さんはまず、ブルックリンのカフェのような雰囲気と居心地のよさに驚くだろう。そしてすぐにインテリアだけが理由でないことに気付くのだ。院内に漂う穏やかな空気の源は、スマイルプラン・グループの理事長・山本恒一先生が目指した「笑顔が溢れるクリニック」との夢を叶えたことにある。

「僕はあちこちから笑い声が聞こえる賑やかな場で、患者さんを出迎えたいんです。グループのフィロソフィーは『Everything for the patient』。医療の中心に患者さんがいて、その周りで歯科医療スタッフが連携を取り、口腔内をより健康により美しくしていくという考えです。中でも重視しているのが、患者さんとのコミュニケーション。定期的なメンテナンスを推奨しているため、患者さんとは長い付き合いになります。だからどんな些細なことでも、相談しやすい関係性をつくらなければなりません」

山本先生の思いの片鱗は、クリニックの至るところに存在している。診療室へ向かう廊下の壁面のオブジェは眺めているだけで楽しく、診療室は笑顔が行き交うようガラスのパーテーションを設置し、あえて個室にはしていない。患者さんに寄り添って話をしたいとのことから、カウンセリングスペースの椅子は横

並びにするなど、枚挙にいとまがない。「オーク歯科は3つ目の分院になります。『スマイルプラン やまもと歯科クリニック』と『スマイルプラン さくら歯科クリニック』が、ハイグレードな空間でインプラントや審美歯科をメインにした歯科医療を提供しているのに対し、ここは予防歯科が中心。カジュアルなスマイルプランといったイメージですね」

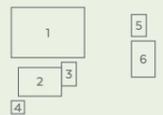
山本先生は2004年に開業し、その4年後に大幅なリニューアルを行った。目的はサービスレベルにこだわった接客と高度な治療の提供などのさらなる強化。「患者さんが通いたくなる歯科医院を追求した結果でした。すると医院そのもののコンセプトの変更に加え、内装、外装、ロゴの刷新は不可欠。理念をビジュアルで訴求する意味において、設計、グラフィック、HPのデザインをすべて同じ事務所に一任したのも大きかったと思います。イメージの統一が図れますから。」

今では僕の理念に賛同してくれる仲間も増え、グループ院が各地へ広がっています。歯科医療従事者同士が協力し合う方が、理念を実現できる。開業すると経営やマネジメントなど、臨床以外の仕事が発生します。一人でやるには限界があるので、各々が能力を一層発揮できるようにサポートしたい。歯科医療は魅力的な仕事ですし、日本の歯科業界を盛り上げる一翼を担えたらと思うんです」

自らを誇れる医療がどれだけ提供できるのかを、山本先生は考える。歩んできた道を振り返ったとき、「いい歯科医師人生だった」と感じられるように。



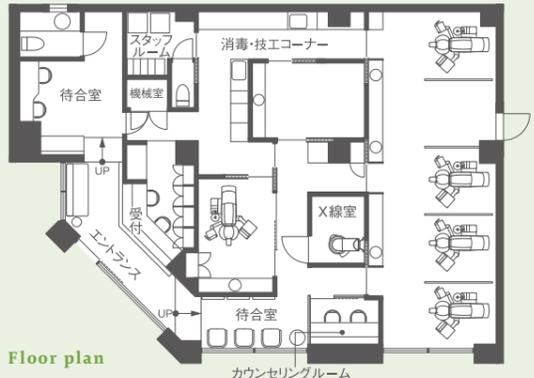
HONEST MATERIALS



1.ユニットを内側の壁に向けて設置しているため、外部からの視線は想像以上に気にならない。「カフェや美容院と同じように、歯科の診療もオープンでいいと思っていますよ。定期的なメンテナンスが当たり前であるのと一緒です」と山本先生。2.横並びで座るカウンセリングスペース。グリーンウォールが気持ちを和らげる。3.カフェのようにいろんな種類の椅子が置かれている待合室。4.ガラスボトルとアイアンフレームのフラワーベース。5.フィラメント電球の照明が空間を一層昇華している。6.異素材をミックスし、洗練されたムードが漂う受付スペース。

スマイルプラン オーク歯科クリニック

Add: 大阪府茨木市舟木町  
5-12 ホワイトビル1F  
Tel: 072-637-1755  
Web: www.smileplan-ibaraki.com



Dentist



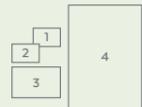
理事長 山本恒一 先生  
2004年「やまもと歯科クリニック」を開院。12年「スマイルプラン さくら歯科クリニック」、17年「スマイルプラン オーク歯科クリニック」を開院。海外研修やニューヨーク大学インプラント科で長期コースを修了し、技術を修得した。

#1 - SMILE PLAN OAK DENTAL CLINIC - OSAKA

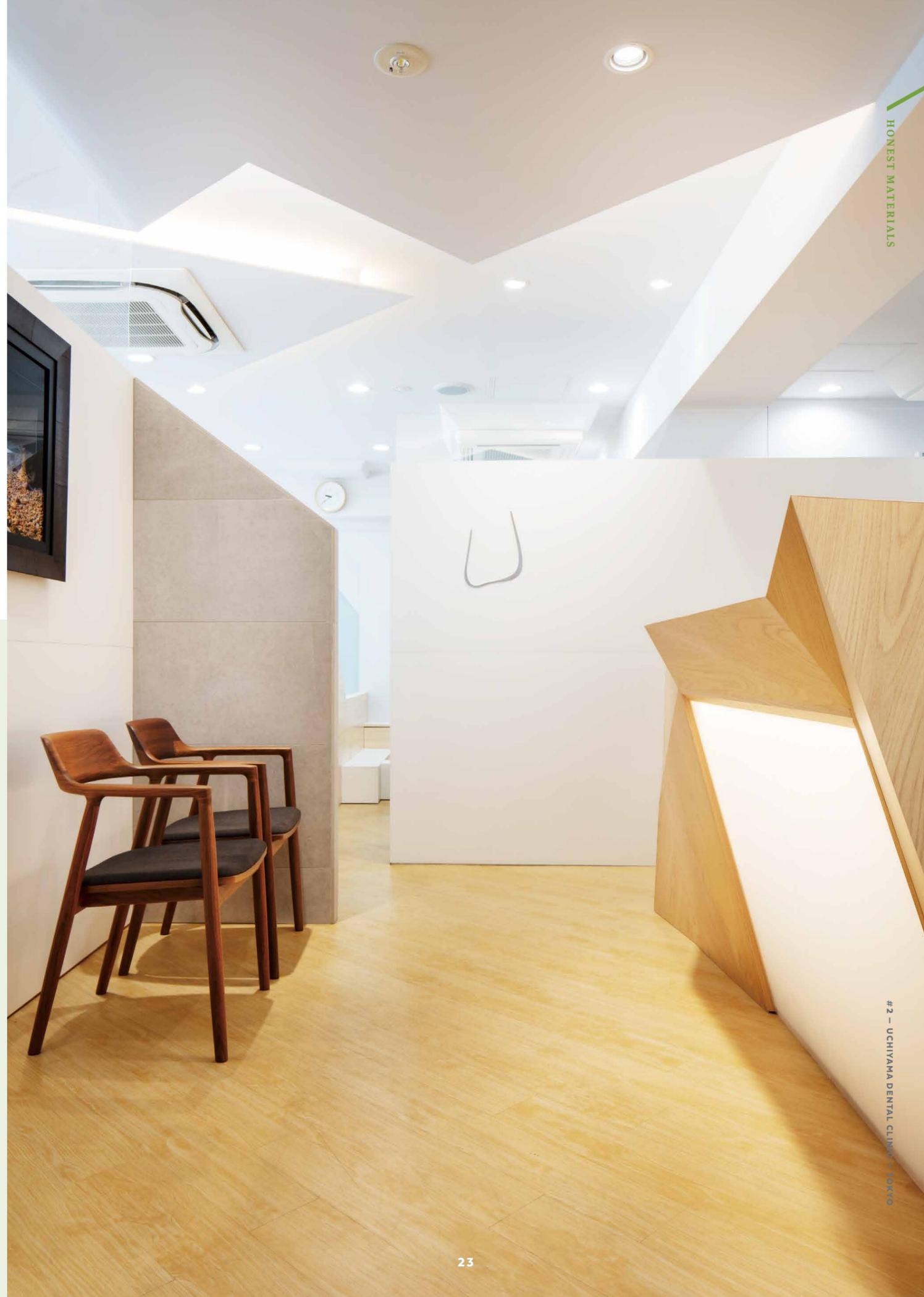
HONEST MATERIALS #2

立地も、空間も、設備も、すべては  
「自分が受けたい治療を提供する」ために

内山歯科クリニック  
東京都港区



1.空間を仕切るパーテーションに、さりげなくロゴをあしらっている。2.待合室に置かれた椅子は、深澤直人がデザインしたマルニ木工の「HIROSHIMA」。3.カウンセリングルームは医師と患者さんがパソコンのモニターを見やすい45度の角度でテーブルを配した。4.受付のカウンターはTomoki Iwashita氏がデザイン。複雑な構造のため、製作した職人さんも試行錯誤を重ねたとか。内側は作業がしやすい機能的な設計。壁には内山先生が撮影した石垣島の風景の写真が飾られている。





1.空間を有効活用できるように、内山先生がデザインした什器。2.空間を活かした院内レイアウトとなっている。3.設備の配管等は窓際に集約し、木製カバーで目隠した。傾斜をつけたのは、圧迫感を与えないため。4.歯科業界で初めて診療費の自動引き落としシステムを導入。それにより、受付業務の手間を減らし、患者さんが会計を待つ必要もなくなった。

## 随所にちりばめられた空間を活かす工夫

東京・南青山にあるテナントビルの2階。約28坪という限られた面積を巧みに利用し、居心地のよい空間に仕立てられている。床や什器には木を多用。空間を構成する三角形のモチーフが軽やかなリズムとなり、視覚的な遊び心を奏でている。閉塞感がないのは、床から天井までの壁を設置せず、間仕切りを活用したゾーニングに寄るところが大きい。それにより空間全体に一体感が生まれているのだ。

機能的動線の設計は内山徹哉先生自身が担当。具体的なデザインなどは、旧友である建築家の Tomoki Iwashita 氏と二人三脚で進めていったという。

「設計は3次元モデリングのソフトウェア『SketchUp』を使いました。全体的に三角形で構成したのは Tomoki 氏のアイデア。『曲線より直線の方が施工が難しいけれど、格好いいから』と言っていましたね。よく見ると、受付のカウンター、什器、天井の空調や照明を覆う意匠など、あらゆるところが三角形になっているんです。

診療室を仕切る役割を果たす収納付きの什器は、僕がデザインをしたんですよ。できるだけ空間を有効活用できるよう心掛けました。四角いチェストのフォルムだと圧迫感があるので、三角形を

組み合わせ、余白を作り出しています。狭さを感じさせず、いかに広々と見せるか。仕切りの高低差や天井部のディテールなど、随所に工夫を凝らしています」

「内山歯科クリニック」を開業したのは2010年。そして同じ設計・施工チームで2017年に現在の場所へ移転した。空間づくりにおける1回目の反省が活かされている点もあるが、コンセプトはどちらも変わらない。

「患者さんに『ただいま』と感じてもらえるような、落ち着きある空間にしたかったですよね。ただ1回目の経験を踏まえ、ゾーニングや動線をより意識しています。いまデンツプライシロナのトリートメントセンターは3台なのですが、もっと台数を増やすこともできたんですよ。でも、しなかった。カウンセリングルームは必要でしたし、ゆったりしたスペースの診療室の方が患者さんもリラックスできますしね」

これは平均1.5時間にわたる治療が多いからこそ配慮ともいえるだろう。その在り方はユニット選びにも取り入れられている。

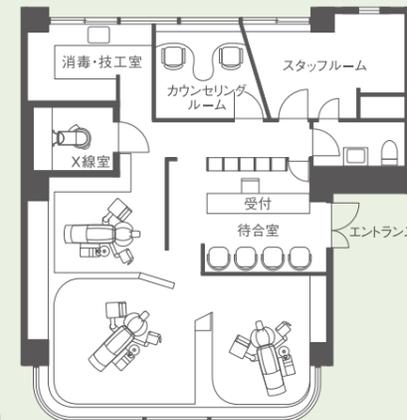
「ユニットは歯科医師にとっての“武士の刀”。患者さんの身体に負担をかけず、ドクターも治療がしやすいトリートメントセンターは、非常に総合力の高いユニットだと思っています。僕のモットーは『自分が患者だったら受けたい治療』。



10年後も笑顔で歯科医院に通っているって、実は難しいんですよ。僕は治療をしっかり施したいし、治療後のメンテナンスもしたい。そのため当院ではチーム歯科医療の体制を整えています。主治医の僕が指揮者として全体の治療計画を立て、各科専門医、歯科技工士、歯科衛生士が協力し合い、最適な治療を行う。青山一丁目駅付近で開業したのもそれが理由なんです。地下鉄の乗り入れが3本あるので、患者さんもチームメンバーも通いやすいですね。当院へ来れば、どんな口腔内の悩みも解決できる。そんな歯科医院を目指しています」

## 内山歯科クリニック

Add: 東京都港区南青山2-7-27  
フォレストサイドビル2F  
Tel: 03-6804-1180  
Web: www.uchiyamadental.com



Floor plan  
Design: Tomoki Iwashita

## Dentist



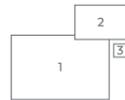
院長 内山徹哉 先生

日本臨床歯科医学会(SJCD)東京支部所属。日本歯科評論「審美修復治療の実践」など多数の論文を寄稿。[IPS e.max Smile Award 2016]にて1st place受賞。

HONEST MATERIALS #3

四季の移ろいを感じられる庭と  
調和した診療室で  
審美と機能を追求した治療を実践

大岸歯科クリニック  
宮城県仙台市



1.待合室にあるL字形のカウンターでは、受付と会計の場所が別になっている。支払いや次回の予約といった事務的な内容以外の会話ができるよう、会計は着席して行う。2.床から天井までガラス張りの窓。庭では四季折々の景色が楽しめ、その先には広瀬川が流れている。3.ロゴマークとHPの制作は、紹介されたデザイナーに依頼。





## 地元・仙台を拠点に 歯科医療の発展を目指す

「大岸歯科クリニック」が立つのは、仙台市を貫流する広瀬川沿い。この場所で、鈴木祐先生は生まれ育った。

「父が『大岸歯科クリニック』を開業したのは1979年。1階が診療所で2階が自宅という造りだったのですが、毎朝仕事のために階段を下り、診療が終わると帰ってくる父の姿や、患者さんが『ありがとうございます』と笑顔で帰っていく様子を小さい頃から見ていて、こういった職場環境に憧れていたんです。現在のクリニックは同じ敷地内に新設しました。当時の建物もまだ残っていますよ」

鈴木先生の父である鈴木有一先生は、名誉院長として今もお現役。幼少期から通っている患者さんが、成人し、結婚し、自身の子どもを連れてくるのも、大岸歯科クリニックではありふれた光景だ。

「『大きくなったな!』と、父がよく患者さんと話をしています。若いお母さんだった方が、孫を抱いて来院されたり、3世代で通院されている方も多んですよ。自分が院長を継ぐにあたり、仙台駅付近での開業も検討しました。ただここに踏みとどまって、本当によかったと思っているんです。やっぱり父が築き上げた患者さんとの関係は、継承しなければならない。その責任感がありますね」

鈴木先生は、院長に就任した2017年にクリニックを新築。もとの建物を改修するプランはなかったのだろうか。

「自分の城をもちたかったんですね。」



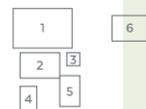
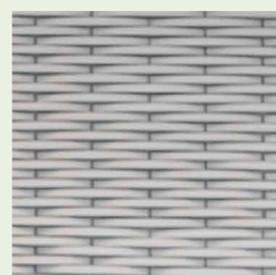
それにもとの医院は建物自体が古く、箱も小さい。改修だと制約が出てきてしまうので、新たに建てることにしました。

第一に考えたのは、開放感。広瀬川に面していますから、建物に日当たりが阻害されることも、覗かれる心配もありません。ですからこの立地を最大限活かし、庭の緑と調和した診療室をつくりたいと思いました。太陽の光が入るよう、窓は大きく。暗い印象にしたくなかったので、壁、什器、ドアなどは明るい色の木目で統一しています。消毒・滅菌室はどの診療室からもアクセスのよいところに配置し、2方向から出入りできるようにしました。廊下には車椅子の患者さんも楽に移動できる幅をもたせています」

都市部に勝るとも劣らない進んだ歯科治療の提供。それが、鈴木先生が掲げるコンセプトの根底にある。

「審美と機能を兼ね備えた治療を施す。これを常に心掛けています。先進の治療を取り入れた歯科医療体制が仙台にもあることを、広めていきたいんですよ。一度処置をしたら、その患者さんの口腔内の責任を一生負うような気持ちでいるんです。そのためにきちんと診断をして、治療計画を数パターン提示し、治療を進めていく。診断とゴールがひとつだとしても、過程にはいろんなやり方があるので、僕自身も学び続ける必要があります。もっともっと技術を深めたい。どんな患者さんにも、最適な治療が提供できる準備をしておかなければなりませんから。10年後、歯科医師として最も脂が乗っている時期でありたいですね」

地元・仙台を愛し、愛するからこそ、地域の歯科医療の発展を志す。鈴木先生の取り組みは仙台の未来に繋がっている。



1.廊下は人が無理なくすれ違い、車椅子での移動も問題ない幅を確保している。2.診療室は個室と半個室。どの診療室にも窓が設置されている。3.待合室と診療スペースを区切るドアには、独特の表情をもつニュアンスカラーの素材を採用。木目を活かした空間のアクセントにもなっている。4.「治療方針をきちんと患者さんにお伝えし、ご理解いただけるよう、カウンセリングルームは必要だと考えました」と鈴木先生。5.診療室に射し込む自然光が心地よい。6.閑静な住宅街にあるが、住居のような佇まいにはあえてしなかったという。隣に立つのはもとの歯科医院。



## 大岸歯科クリニック

Add : 宮城県仙台市若林区  
土樋 244  
Tel : 022-266-6270  
Web : www.ohgishi-dent.com



Floor plan 設計事務所：株式会社 本間総合計画

## Dentist



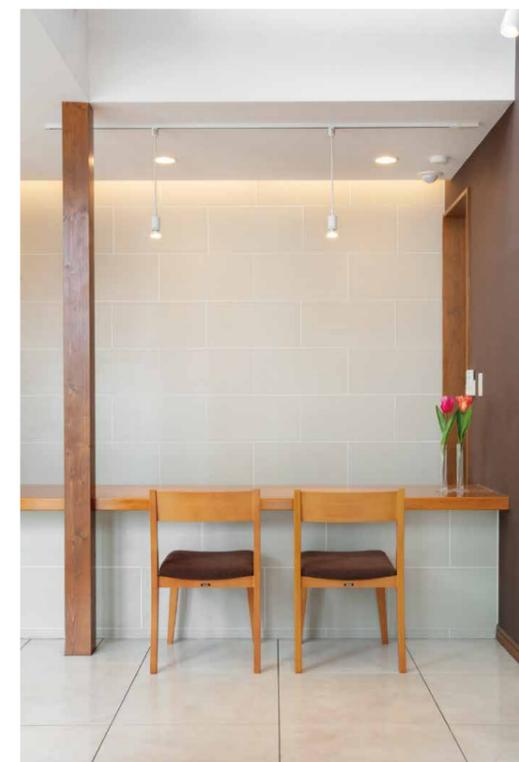
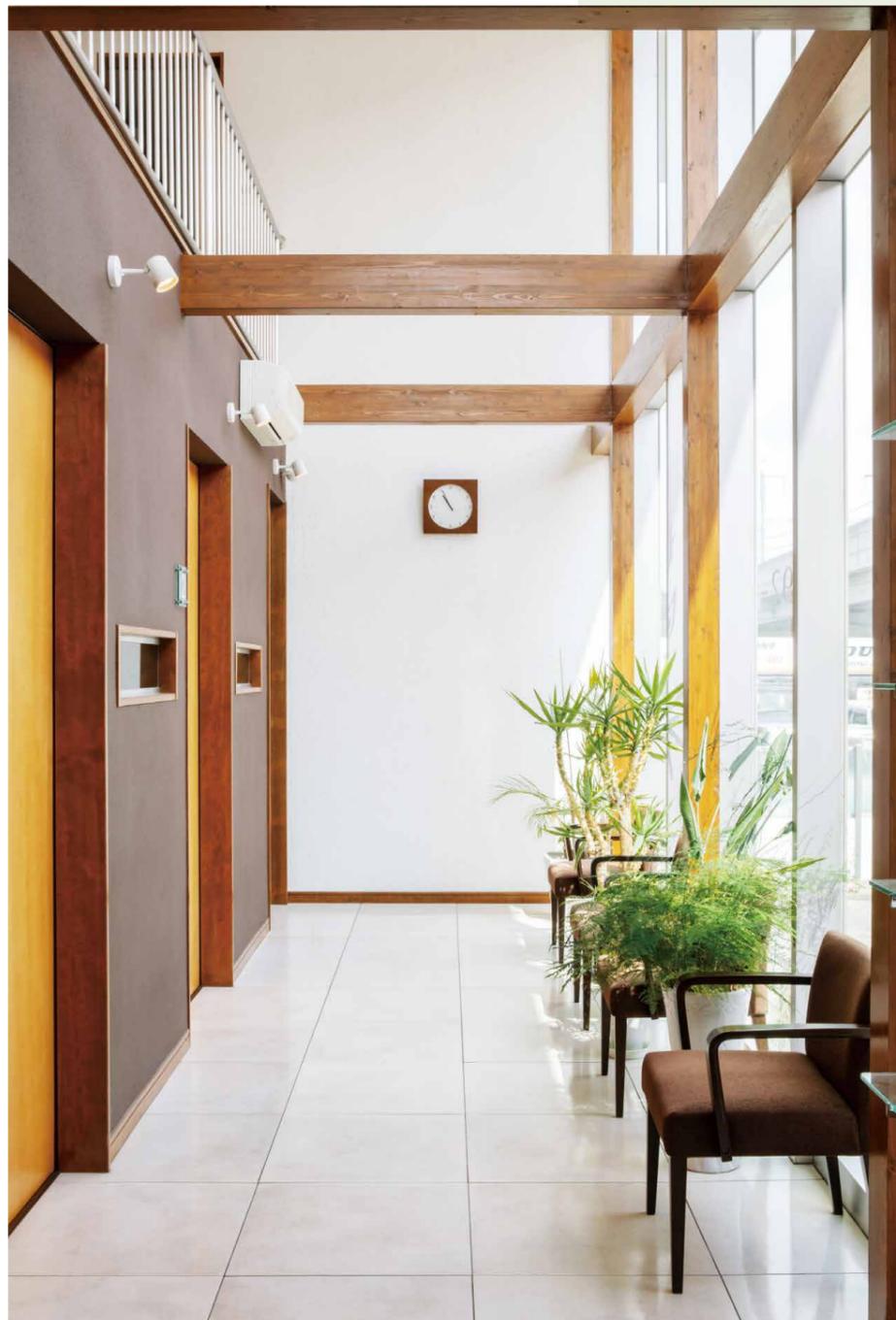
院長 鈴木 祐 先生

2004年岩手医科大学歯学部卒業、08年東北大学大学院歯学研究科卒業。歯学博士。17年大岸歯科クリニック院長に就任。日本臨床歯科医学会(SJCD)東北支部長。日本口腔インプラント学会専修医、日本顎咬合学会 かみ合わせ認定医。

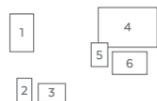
HONEST MATERIALS #4

“自分のため”が  
“患者さんのため”になっていく  
信頼される歯科医院を目指して

アールデンタルオフィス  
福岡県筑紫郡



1. 大きなガラス張りの窓のため、デンタルオフィスは開放的で明るい雰囲気。
2. 外観の一部に木材を採用し、内観と調和させながら、デザインのアクセントとしている。
3. 木の質感が温かみを与えている。
4. 「スライド式のドクターユニットであることが、ユニットを決める第一条件。デンツプライシロナのトリートメントセンターにした決め手は、手で操作することなく足で操作できたことでした」と吉村先生。
5. 着席式の受付カウンターにしたのもこだわり。



1.明るい待合室。この一角にはキッズスペースもある。全室個室のため、診療室に子どもを連れて入ることも可能。2.それぞれの診療室の扉に小さな窓を設置し、閉塞感をなくした。3.患者さんとスタッフの出入り口を分けた診療室。スタッフが使う奥の扉は、消毒室やバックヤードに繋がっている。4.インテリアとして観葉植物を取り入れている。植物があることで、一層柔らかな空間に。5.受付に飾られた花から季節を感じられる。那珂川町は吉村先生の地元。同級生や祖母の友人も来院しているという。ここでの開業を機に、卒業した小学校の校医も来ているとか。6.個室ごとに、インテリアアイテムをさりげなくディスプレイ。



## デンタルオフィスに体现された自らが開業する意義

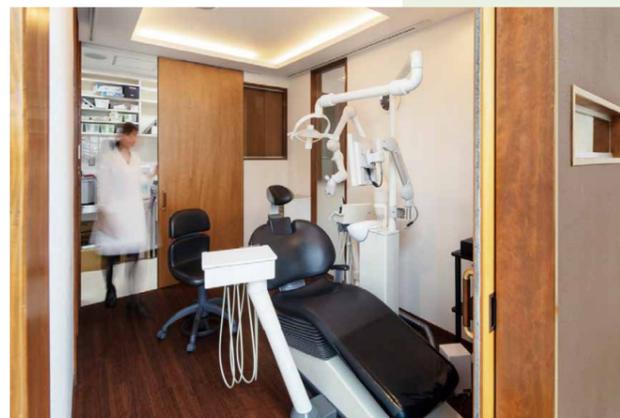
大きな窓から降り注ぐ光は空間全体に行き渡り、心地よい空気が漂っている。BGMは1960~70年代のUKロック。レッド・ツェッペリンやジミ・ヘンドリックスのサウンドが流れ、待合室に置かれた雑誌のジャンルは建築、音楽、グルメと、趣味性が高い。ハイセンスな友人の自邸を訪れたかのような温かさが「アールデンタルオフィス」にはあるのだ。

「音楽も雑誌のテイストも、全部私が好きなものです。ほぼ毎日通う場所ですから、『自分が行きたい歯科医院にする』というのは大前提でした」

吹き抜けの待合室、着席して会計等を行える受付のカウンター、完全個室の診療室、男女別のレストルーム、モダンなパターンのテキスタイルが印象的なキッズスペースなど、インテリアデザインは吉村理沙先生の希望をすべて落とし込み、柔らかな色合いでまとめられている。一部の診療室には患者さんとスタッフが出入りするドアをそれぞれ別に設置し、動線を分離。個室のため、スタッフ同士の伝達はインカムを採用している。

吉村先生は建築家・安藤忠雄氏のファン。ゆえに安藤建築のオマージュとして、コンクリート打ち放しも検討した。しかし設計士との打ち合わせを重ね、木の質感を活かすことにしたという。

「医療機関ですから、温かみのある空間の方がふさわしいと考えました。『アールデンタルオフィス』の『R』には、『Relax、Refresh、Reliable』の意味を込めています。患者さんに信頼してもら



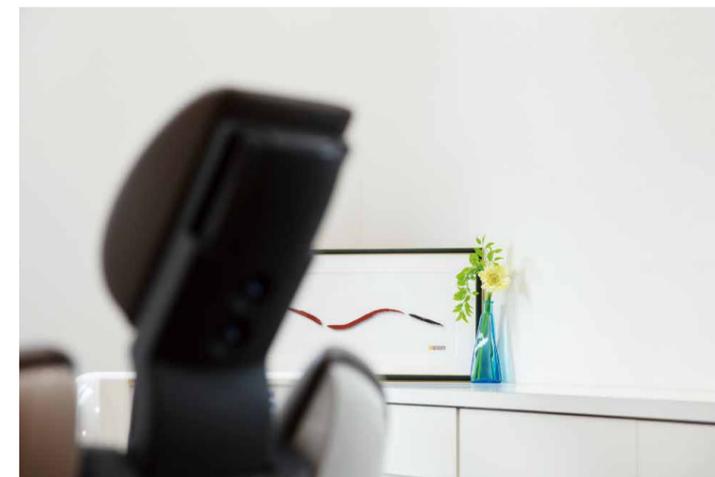
える存在になりたいんですよ。

だから当然、設備の充実にも力を入れています。当院のある那珂川町は博多駅から少し離れたエリアですが、地方であることは最新設備を揃えない理由になりません。歯科医師は器械がなければ何もできない。いい設備を導入することで、患者さんがより快適で、より美しい口腔内で過ごせるのなら、妥協なんてできないんですね。患者さんへ治療に関する十分な説明を心掛け、空間も設備もこだわり抜く。そうでなければ、私が開業する意味も必要もないんです」

現在、吉村先生が視野に入れているのはベトナムでの開業だ。これは2011年にアールデンタルオフィスを開く以前から考えていたことで、数年前からベトナムのストリートチルドレンの検診・治療や、カンボジアの歯科医学生への指導といったボランティア活動も行っている。

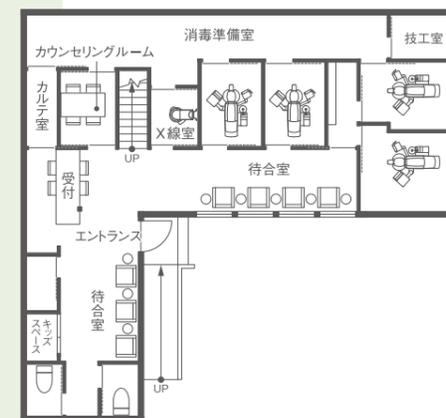
「ベトナムは福岡空港からのアクセスもいいんですよ。日本人駐在員の方が多いのですが、現地の歯科医院では痛みの微妙なニュアンスを伝えるに困っている、という話も耳にします。加えてボランティアをしていて感じるのは、都市部とそれ以外の地域の貧富の差が激しく、むし歯予防の意識が根付いていない現状。子どもたちの歯はボロボロで、自分にできることはたくさんあると痛感するんですね。健康な歯を保つことの大切さを伝えるためにも、拠点があった方が活動しやすいんです」

原動力は「やりたい」と思う強い気持ち。それは吉村先生の故郷である那珂川町、そして国境を超えた地で、患者さんのための歯科医療として還元されていく。



## アールデンタルオフィス

Address: 福岡県筑紫郡那珂川町中原 5-35-1  
 Tel: 092-952-9777  
 Web: www.r-dental-office.com



Floor plan

## Dentist



院長 吉村理沙 先生

2001年福岡歯科大学卒業、同大学付属病院での研修を行う。11年「アールデンタルオフィス」を開業。船越歯周病学研究会インプラントアドバンスコースなど数々の講習会に参加。日本臨床歯周病学会、日本接着歯学会に所属。

# PURE SHAPES

— 洗練されたシェイプ —

空間に起伏を生むシャープなフォルムの家具やオブジェ。

クールで洗練された雰囲気は、

ミニマルであると同時に清潔感が漂っている。



WHITE



DUSTY PINK



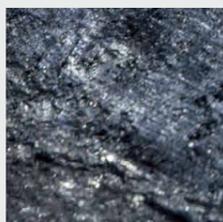
MARBLE



SILVER GRAY



PLATINUM SILVER



CARBON



**FLOOR LAMP**  
The LED lamp "Sento letturo" ensures optimal illumination at the workplace.  
**DESIGNER OCCHIO**  
[www.occhio.de](http://www.occhio.de)



**SOFA**  
Despite its simple design, the "Bess" sofa brings elegance to every purist ambience.  
**DESIGNER DIEZ OFFICE**  
[www.diezoffice.com](http://www.diezoffice.com)



**SIDE TABLE**  
The ingenious "PAIR" side tables are made of glass and have a removable black top.  
**DESIGNER NENDO**  
[www.glasitalia.com](http://www.glasitalia.com)

**ROLLING CART**  
The purist rolling cart is part of the "New Order Work Space" line. All parts can be combined into an individual system.  
**DESIGNER DIEZ OFFICE**  
[www.diezoffice.com](http://www.diezoffice.com)

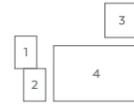
**COAT STAND**  
The coat stand of the UPON line is a modern classic. Its unusual shape was inspired by the luggage nets that used to be found on trains.  
**DESIGNER DIEZ OFFICE**  
[www.diezoffice.com](http://www.diezoffice.com)



PURE SHAPES #1

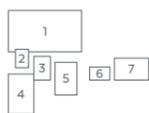
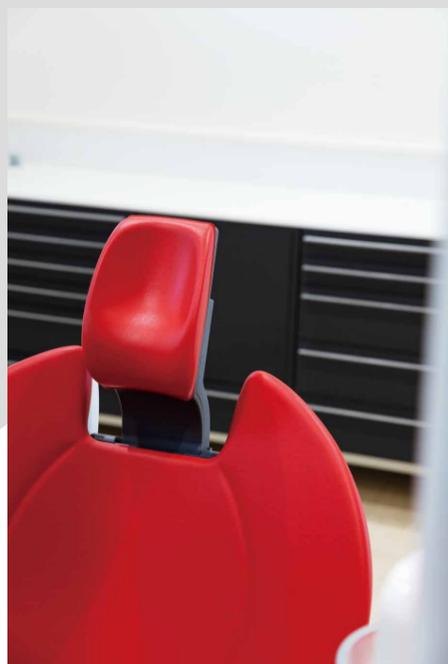
長きにわたり培ってきた  
口腔外科の症例経験が導く  
歯科医療の本質

名取歯科医院  
福岡県久留米市



1.特別診療専用待合室。Cassinaの「グランドランゴロ」のシングルソファが高級感を醸している。2.待合室の椅子は座面の張り地を特注したというVitraの「VISAROLL 2」。3.「Keep Clean」が空間のコンセプト。天井は一番高い所で4.27m。「開放感のあるスタイリッシュな歯科医院を建てたいと考えていました」と名取先生。4.オペ室は名取先生が最も気に入っている空間だという。





1.診療用キャビネットはイタリアのデンタルアート社でセミオーダーし、その使い勝手のよさから「名取モデル」として商品化もされた。2.女性用レストルーム。さりげなく「シェルチェア」が置かれている。3.院内は非常に清潔。昼休みにはモップタイプのロボット掃除機を3台、稼働させているという。4.受付の椅子は「LC7」。名取先生の家具のセレクトも秀逸だ。5.トリートメントセンターの鮮やかなレッドが映えるオベ室。今後、より設備を充実させていく予定だとか。6.技工コーナーと消毒コーナーが2列に分かれたバックヤード。7.モダンな佇まいの外観。

いかなる要素においても決して手を抜かない

20年以上にわたる口腔外科分野での経験を踏まえ、日本各地での講演、論文や書籍の執筆、久留米大学病院で指導にあたるなど、治療のみならず、歯科医師の育成も精力的に行っている名取徹先生。経験に裏打ちされた確かな実績は信頼に繋がり、名取先生を頼って来院する難治の患者さんも多いという。

「特にインプラント治療は日進月歩をしていますから、常に最新の情報を得なければなりません。設備も同様。『まだ使える』ではなく、適切な時期には買い換えなければならないんですよ」

独立したのは2003年であるが、CTはすでに4台目。トリートメントセンターも同じタイミングで導入し、以前のクリニックを売却して、2017年に「名取歯科医院」を開く際には新しいユニットを揃えている。

「長時間の治療における患者さんの身体的負担を考慮すると、ユニットの選択肢は快適な患者ポジショニングを支えるデンツプライシロナのトリートメントセン

ター一択。水の清浄システムや治療機能も優れていますし、ドクターユニットのホースが床につかない構造も利点でした。なぜなら歯科医院の床は総じて不衛生なんですね。口腔外バキュームを設置しても、治療時にはどうしても細かい粉塵が床に落ちてしまう。その床にホースが接するなんて、あってはならないんですよ。衛生面に注力することは、非常に重要です。当院では大学病院と同等レベルの衛生環境を確立。可能な限りディスプレイ製品を使い、それ以外の器具は滅菌を徹底しています」

バックヤードが技工コーナーと消毒・滅菌コーナーの2列に分かれているのも、衛生環境の維持に努めているがゆえ。床には清掃がしやすい大理石を採用した。

名取歯科医院は建築物としても美しい。ガラスを大胆に使用したシャープな造作によって、洗練された空間を創出。窓は北向きのため、自然光で治療が

さまたげられることはない。家具に目を向けると、ル・コルビュジェの「LC7」やチャールズ&レイ・イームズの「シェルチェア」といった名作がズラリ。インテリアデザインは名取先生が行ったというから、センスのよさに脱帽である。

「建築も家具も、歯科医療と一緒になんです。表面だけ綺麗にして、中身をいい加減にすることはいくらでもできるんです。そんなズルをしていると、年月の経過とともに不備が生じてくる。見えるところは当たり前、見えないところも当然手を抜きません。だからインテリアにもこだわる。その考えは根底にありますね」

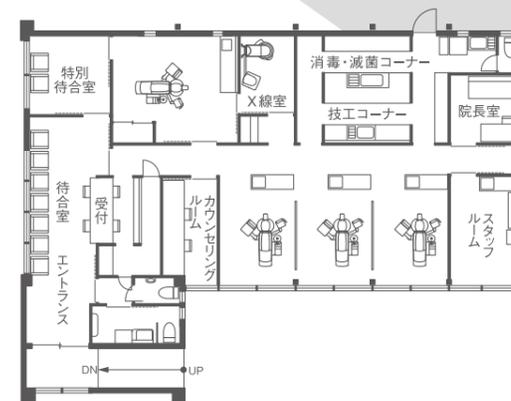
患者さんと同じ目線で話し、考えを共有し、治療を進めていく。技術、環境、設備、理念、それらが表面的なものでないことは患者さんにも伝わる。名取先生は朗らかに笑い、こうつぶやいた。

「僕は世界中の誰よりも、患者さんの口の中のことを考えていますから」



### 名取歯科医院

Add：福岡県久留米市小森野  
4-10-10  
Tel：0942-33-5236  
Web：www.natorident.com



Floor plan

### Dentist



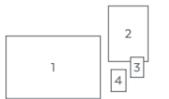
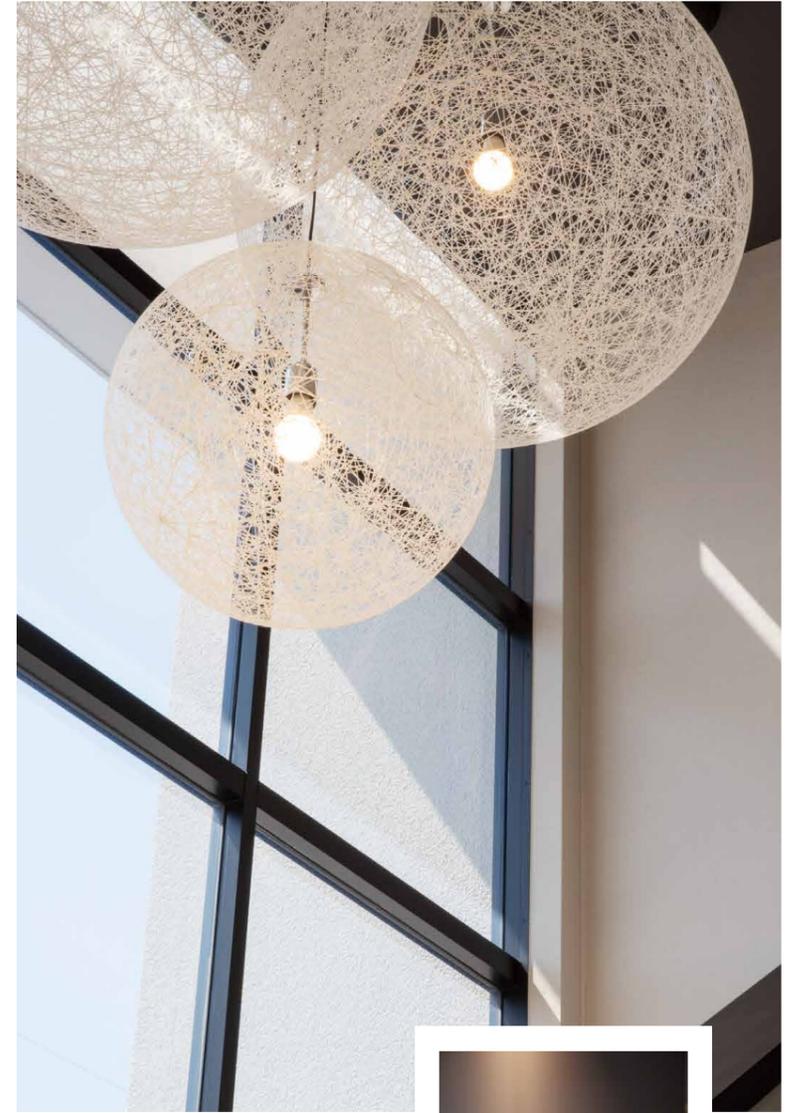
院長 名取 徹 先生

医学博士。久留米大学医学部歯科口腔医療センター講師、同大学大学院医学研究科博士課程講師(ともに非常勤)。2003年大分県佐伯市にて「つるみ歯科診療所」開設。17年「名取歯科医院」開設。日本臨床歯科医学会(SJCD)福岡支部にて理事を務める。

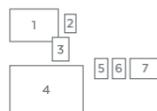
PURE SHAPES #2

患者さんに寄り添い  
ずっと通い続けてもらうために  
研鑽を積んでいく

石井デンタルクリニック  
静岡県浜松市



1. 建物に入ると、上質な風合いの自動ドアが現れる。ここでレセプションと診療室は仕切られており、空間を隔てることで、ドアの向こう側への期待感をもたせているのだとか。レセプションの壁には石のような風合いのタイルを採用。2. 石井圭先生のお気に入り、吹き抜けに吊るされた照明。夜になると、外からは光が浮かび上がって見える。3. 受付にあるVitra社の「Eames house bird」。4. シヤープなフォルムのスロープの手すり。



1.プライバシーに配慮し、診療室はすべて個室。2.廊下の間接照明が高級感を演出。3.トリートメントセンターのシートカラーはブラチナ。4.今後、2階の個室も診療室にする予定だが、また「石井デンタルクリニック」では定期的に勉強会を開催し、スタッフ全員で意識と知識の共有を行っている。5.採光をたっぷり取ったレセプション。南向きのため、眩しすぎないよう窓にはグレーの遮光フィルムを貼っている。空調の循環を促すため、天井にはファンを取り付けた。6.カウンセリングルームでの対話を経て、患者さんと治療ゴールを共有する。7.外の植栽はやまぼうし。四季を感じられる樹を選んだという。車で通院する患者さんが多いため、駐車場のスペースも十分に確保。

カウンセリングを重視し、共に治療を進めていく

シャープな線で構成された、四角い箱型の佇まい。真っ白な外壁はクリニックが立つ道路沿いでひと際目を引き、洗練された存在感を放っている。空間はまるでラグジュアリーホテルさながら。レセプションは吹き抜けの窓から差し込む光が満ち溢れ、患者さんは上質な雰囲気の中で、落ち着いた心持ちで治療を受けられる安心感を覚えるだろう。

「石井デンタルクリニック」は、2017年に石井圭先生とちひろ先生がご夫婦で開業。もともと治療に対する考え方や目指すクリニックの方向性などが合致していたため、意見が食い違うことなく、開業準備を進められたという。

「僕たちは患者さん一人ひとりと真摯に向き合い、『可及的に歯を削らない、美しく歯を残す』を理念とした歯科医療を実践しています。アポイントの枠は常に

1列。治療のクオリティにこだわるからこそ、1日に診療する患者さんの数をなるべく抑えているんですよ」

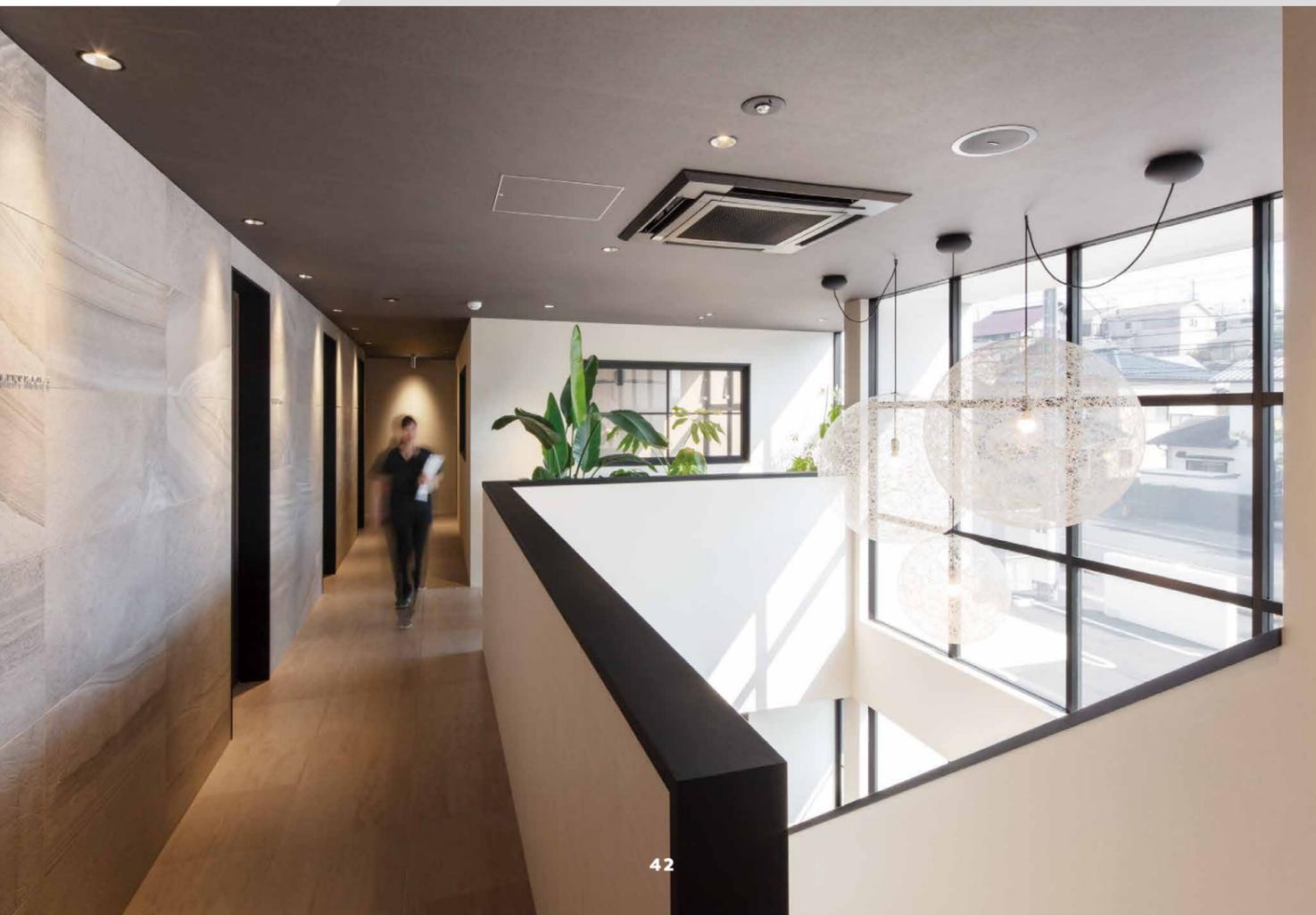
圭先生にちひろ先生が続けて話す。「当院ではカウンセリングを非常に重視しています。たとえ痛みが主訴だったとしても、私たちは主訴の解決だけを目的に治療するわけではありません。カウンセリングルームで患者さんと対面し、まずはじっくりお話を伺う。お気持ちを治療に反映させ、最良の治療計画を遂行するためにも、カウンセリングはとても大切なんです。口腔内は私たちのものでなく、患者さんのもの。一緒に治療を進めていくという考えですね」

二人の思いを実現するには、患者さんはもちろん、スタッフも心地よく過ごせる空間である必要があった。重厚感あるドアを隔てた先の診療室はすべて個室。広々としたスペースを確保し、治療中に患者さんが空を望めるような部屋にも窓を設置している。個室およびデンツブライ

シブのトリートメントセンターは、歯科衛生士も含めて一人1室1台。「自分の椅子」として任せることで、各々が自信と責任をもち治療に取り組んでいる。

「スタッフが身内を連れてきてくれる歯科医院にしかかったんです。治療の質、安全面、衛生面、すべてにおいて『私が働いているクリニックは、一番綺麗だから安心なんだよ』と言ってもらえるように。スタッフが幸せに働ける環境でなければ、患者さんを幸せにすることもできないと思うんですね。自分の歯医者さんを求めて転院を繰り返し、最終的にうちへ来てくださった患者さんを診ていると、心苦しくなってくるんです。おつらい思いをされてきたんだろうなと。だからこそ、患者さんにはずっと通ってもらえる歯科医院であり続けたい。医師とスタッフ一同、常に研鑽を積んでまいります」

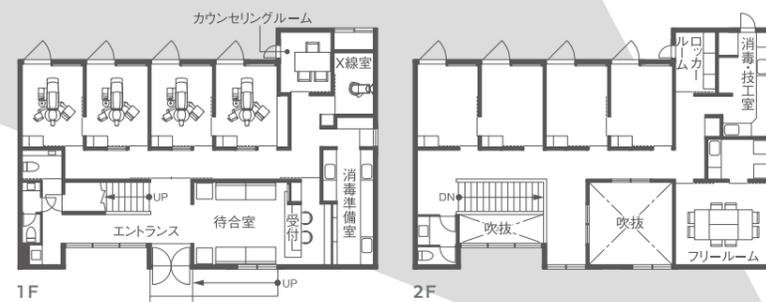
そう穏やかな口調で語る圭先生。先生方の実直な姿勢と確かな技術は評判を呼び、多くの患者の信頼を集めている。



## 石井デンタルクリニック

Add: 静岡県浜松市中区広沢3-24-13  
Tel: 053-525-8841  
Web: www.ishii-dentalclinic.net

Floor plan  
設計事務所: tap planning inc.



## Dentists



院長 石井圭先生(右)

日本顎咬合学会咬み合わせ認定医、日本臨床歯周病学会認定医、日本口腔インプラント学会会員ほか。

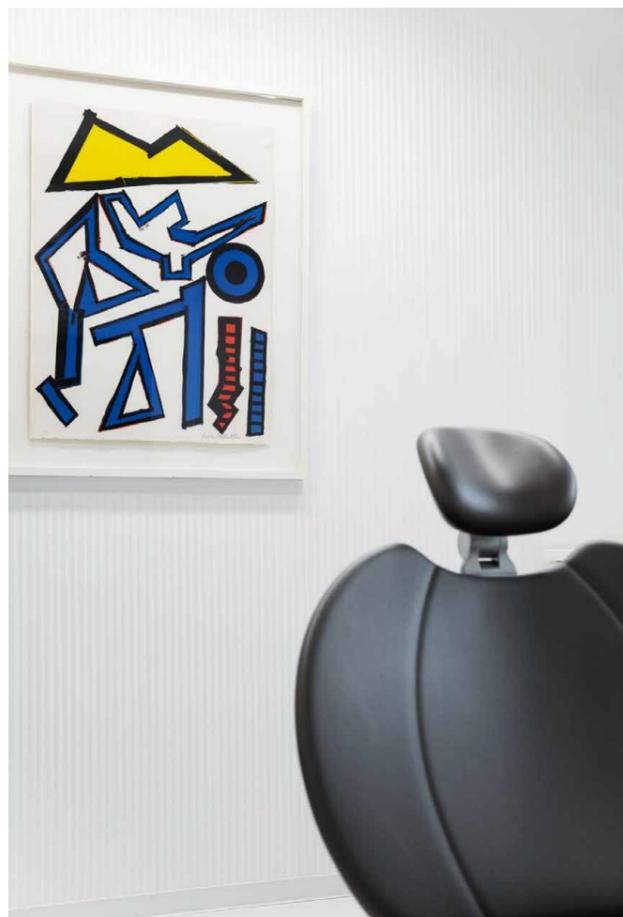
副院長 石井ちひろ先生(左)

日本顎咬合学会咬み合わせ認定医、日本臨床歯周病学会会員、日本口腔インプラント学会会員ほか。

PURE SHAPES #3

科学的根拠に基づき  
補綴専門医ならではの  
技術と治療を提供する

土屋デンタルクリニック  
大分オフィス  
大分県大分市



1.診療室をはじめ、院内の至るところに猪熊弦一郎氏の作品が飾られている。2.殺風景になりがちなエントランスも、アートを品よく掛ければ上質な空間へと様変わり。3.土屋先生のお子さんがクリニックを訪れることも。大分県の病院や診療所は、廊下の幅が120cm以上、手すりを設置するなど、「大分県福祉のまちづくり条例」で細かな規定がある。



4



3

空間は一種のおもてなし  
診療こそが最も重要

院内に飾られたいくつもの絵画。これらはすべて、昭和期に活躍した画家、猪熊弦一郎氏の作品である。

「設計は猪熊氏のアトリエを手掛けた建築家、大沢悟郎氏に依頼しました。絵が映える品格漂う空間にしてほしいと、お願いをして。絵そのものの存在感と、放たれるエネルギーによって、空間全体がひとつの作品のように仕上がっています」

商業地として賑わう大分駅からほど近い場所にありながら、悠々とした面積を有し、診療室の窓の向こうには広場の緑が広がる好立地。土地との出会いは一期一会。予算よりだいぶオーバーしたというが、土屋嘉都彦先生に後悔はない。4つの診療室、オペ室、消毒・滅菌室、技工室、待合室など、あらゆる空間が広々としており、患者さんは緊張感を抱くことなく治療に臨めるだろう。

「空間は患者さんへのおもてなしの心とでもいうのでしょうか。皆さん『とても綺麗ですね』と褒めてくださいますが、本来ご満足いただくべきは治療の内容と結果。僕は中身で勝負しています」

土屋先生はインディアナ大学補綴科大学院を首席で卒業し、日本で初めてアメリカ補綴学会ボード認定専門医の資格を取得。歯科医療先進国と呼ばれるアメリカで受けた教育は、機能面と審美面において健康な口腔内が長期的に維持される治療へと結びつき、患者さんの将来を見据えた歯科医療を実現している。

「日本とアメリカでは歯科医療の価値

が違います。我が国の保険制度はいい面と悪い面が表裏一体なんですよ。当院ではまず、カウンセリングを通して歯科に対する啓発を行います。自費治療の必要性も伝える努力をする。そして患者さんのニーズと科学的根拠を照らし合わせ、適切な治療内容、時間、通院回数をご提案。専門医ならではの医療、進んだ設備、常駐する歯科技工士の技術、予防歯科をサポートする歯科衛生士との連携により、満足度の高い診療を進めています」

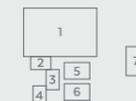
臨床で得たデータは学会などで公開し、現代歯科学の発展へも貢献。土屋先生はボードメンバーとして新設のスタディグループの設立に参画し、理念を共有する歯科医師たちと精力的な活動

を行っている。

「私たちのスタディグループが目指しているのは、自立して診査診断をし、自律して臨床が行える歯科医師・歯科衛生士の育成です。設立は2018年。まだ立ち上がったばかりですが、世界水準で実践可能な日常診療を修得していただくことを趣旨としています」

大分県内でいち早くインプラント治療を取り入れた父、土屋直行先生の背中を見て育ってきた。土屋先生自身も、自らの歯学を探索し続けていく。

「歯の健康は空気のようなもの。失うまでその大切さに気がつかないんですよ。だけど本当に悪くなってしまう前に、患者さんに真価を届けていきたいですね」



1. 公園の緑を借景にした明るい診療室。
2. 院内でスピーディーに補綴物の製作ができるデンツプライインロナのCERECシステムを導入している。
3. 待合室のカウンター。
4. 駐車場のある1階から2階のクリニックに続く階段も白で統一している。もちろんエレベーターも完備。
5. 清潔な消毒・滅菌室。院内には技工室もあり、「僕の考える治療を提供するには、技工士さんの力がどうしても必要なんです」と土屋先生は語る。
6. リーン・ロゼの真っ赤なソファ「PUMPKIN」が映える待合室。家具や壁紙は同じく歯科医師の妻、土屋パニダー先生が選んだもの。
7. クリニックの外観。土屋先生は街中で患者さんに会ったとき、気さくに挨拶を交わす関係性を築いている。



土屋デンタルクリニック  
大分オフィス

Add: 大分県大分市金池南1-11-30  
Tel: 097-578-8214  
Web: www.tsuchiya-dc.com



Floor plan

Prosthodontist



院長 土屋嘉都彦 先生

2008年インディアナ大学補綴科大学院卒業。15年「土屋デンタルクリニック 大分オフィス」を開業。アメリカ補綴学会ボード認定専門医。J.F.J. スカラーシップアワード受賞。福岡歯科大学臨床教授を務め、各地で講演を数多く行う。

# CHEERFUL PATTERNS

— 賑やかなパターン —

鮮やかな色彩とユニークなフォルムによって生み出される楽しい空気は、  
リラックスした気分させてくれる。

細部にまで宿るクリニックのオリジナリティに、注目したい。



SAPPHIRE



OCHRE



SIGNAL RED



WHITE



MARBLE



CARBON



## MOBILE

The "Plywood" mobiles are made of two abstract organic plywood elements that playfully revolve around each other.

### DESIGNER

Charles and Ray Eames  
[www.vitra.com](http://www.vitra.com)



## SOFA

The sofa of the "Victoria and Albert" line combines innovative design and comfort.

**DESIGNER** Ron Arad  
[www.moroso.it](http://www.moroso.it)

## PEDAL CAR

The blue pedal car brings a nostalgic mood to the waiting room.

↓ [www.vilac.com](http://www.vilac.com)



## STOOL

When creating the original "WIL" stool, the designer was inspired by the automotive industry.

**DESIGNER** Romano Marcato  
[www.lapalma.it](http://www.lapalma.it)

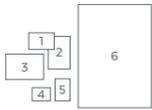
CHEERFUL PATTERNS #1

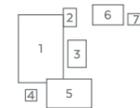
保険診療と自費診療を等しく扱う  
4階建てのクリニックに込められた  
「みんなに来てほしい」という思い

中田歯科クリニック  
京都府京都市



1. 保険診療エリア専用の待合スペース。ソファの下から放たれる照明の穏やかな光が、温かみを醸している。2. 院内の各所で目にする家や丸、ドアの形をした窓は「TOM and JERRY」をイメージ。3. アートも随所に配している。4. ギミックをきかせた「OPEN」のサイン。5. 「発色が美しい」との理由から、壁紙はヨーロッパのものを採用している。6. 1階の待合スペース。中央にある大木のようなカウンターがインパクト大。天井に描かれたグラフィカルな葉が、空間を包み込んでいるようだ。外部から一切見られない建物の構造のため、患者さんはよりリラックスできるだろう。





1.壁を彩る多種多様な色によって、明るい雰囲気。2.待合スペースの壁に、鳩時計を埋め込むなど、雑貨のセレクトにもこだわりが感じられる。3.空間の仕切りには着色したブリザーブドモスを採用。フェイクではないため、調湿作用をもつ。4.優しいあかりのボトル型ランプ。5.自費診療エリア。各診療室をゆったりしたつくりにするため、このフロアのユニットは4台のみ。入り口の幅も広く、車椅子の患者さんにも対応可能。6.道路に面したレンガ造りの壁を脇を抜けると、中庭のようなスペースがあり、ここから太陽光を室内に取り入れている。7.壁にはイタリアから輸入したレンガを使用。

### 居心地のよい空間は患者さんの再来院に繋がる

住居や店舗が立ち並ぶ周辺に同調することなく、郊外型医院のような建築を意識した4階建てのクリニック。2車線道路に面した立地だが、外部からの視線はレンガ造りの壁面によって、完全に遮断されている。この壁は『中田歯科クリニック』のサインとしての役割をもち、さらに太陽光を反射させる巨大なレフ板としても機能。よって、ほとんどの窓にスクリーンが不要となり、一見閉塞的な外見とは裏腹に、壁の内側には明るい光がふんだんに導かれている。

空間づくりのキーワードは「ノルディック」。中田光太郎先生が好きなインテリアのスタイルだ。北欧は緯度が高く、日照時間が極めて短い。そのため北欧建築では光の取り入れ方や照明の使い方などの創意工夫が行われ、室内での暮らしを楽しむためのインテリアが発展してきた。それがいわゆる「北欧らしさ」を特徴付ける、温かみあるデザインに結びついて

いるのだが、マイナス要素として捉えられがちな地理的条件は偶然にも中田歯科クリニックの立地と重なり合い、見事に逆手に取っている。

「当院に遊びに来たドイツ人のドクターは『キャッスルだ!』とっていましたよ。正面のレンガ造りの壁が、特にインパクトがあるんでしょうね。待合スペースではプライバシーを保つため、患者さん同士の視線が合いづらいレイアウトにしたかったです。仕切りを入れると閉塞感が生じてしまうので、湾曲させた木でシンボルツリーのような形を構成し、空間の印象を分節。居心地のよさって、やっぱり大事なんですよ。治療費の高い、安いにかかわらずね」

遡ること25年以上前。中田先生は「これからの歯科医療を劇的に変えていくのはインプラントだ」と確信し、積極的にインプラント治療を学び始める。臨床経験を重ねる中で募る、永続的に良質な歯科医療を提供したいという思い。

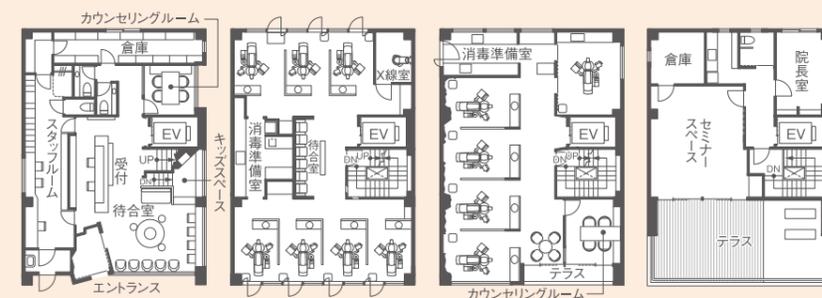
「ユニットが2台だけの自由診療専門の歯科医院にしたらい、という考えも

あるかもしれませんが。だけど僕は、大学病院が一次医療機関、従来の医院が第三次医療機関だとするならば、地域における中規模的な第二次医療機関をつくりたかった。保険診療も自費診療も両方扱う、みんなに来てもらえるクリニックにしたかったんです。なので4階建ての構造は必然に近いんですよ。悩んでいる先生も多いんじゃないですかね。自費診療の割合を増やしたいけど、患者さんに言いづらいついて。当院はひとつのモデルケースになっていると思います」

1階は待合室、2階は保険診療エリア、3階は自費診療エリア、4階はセミナールームと、スペースの利用目的に応じてフロア分け。ひとつの場所に患者さんが密集しないメリットに加え、来院から治療終了までストレスフリーな動線設計を叶えている。セミナールームでは矯正、食育、口呼吸といった患者さんに身近なテーマの講演会の開催を予定。地域に歯科の正しい知識を根付かせる活動にも意欲的だ。中田先生の歯科医療に対する強い志が、この場を通して感じられる。

### 中田歯科クリニック

Add: 京都府京都市西京区桂木ノ下町1-84 Tel: 075-393-6655 Web: www.nakata-dental.com



1F 2F 3F 4F Floor plan

### Dentist



院長 中田光太郎 先生

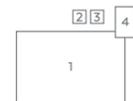
医療法人社団洛歯会「中田歯科クリニック」院長。ITI (International Team for Implantology) Fellow。日本顕微鏡歯科学会 指導医。日本臨床歯周病学会認定医。CID (Center of Implant Dentistry) Club 顧問。



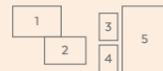
CHEERFUL PATTERNS #2

地域に根ざした「歯の学校」として  
カリエスフリーの子どもを増やしていく

くすの木こども歯科クリニック  
東京都江戸川区



1.ロサンゼルス生まれのセレクトショップ「ロンハーマン」の内装がモチーフ。吊るされた照明の高さが全て異なるのもポイント。家具は鳥谷先生がセレクトした。アンティーク調の時計は、特にお気に入りだとか。2.手書き風のサインが院内のあちこちに。3.大胆な鳥モチーフの壁紙が、空間で際立っている。4.各診療室のサインを突き出し型にしたのは、鳥谷先生のアイデア。



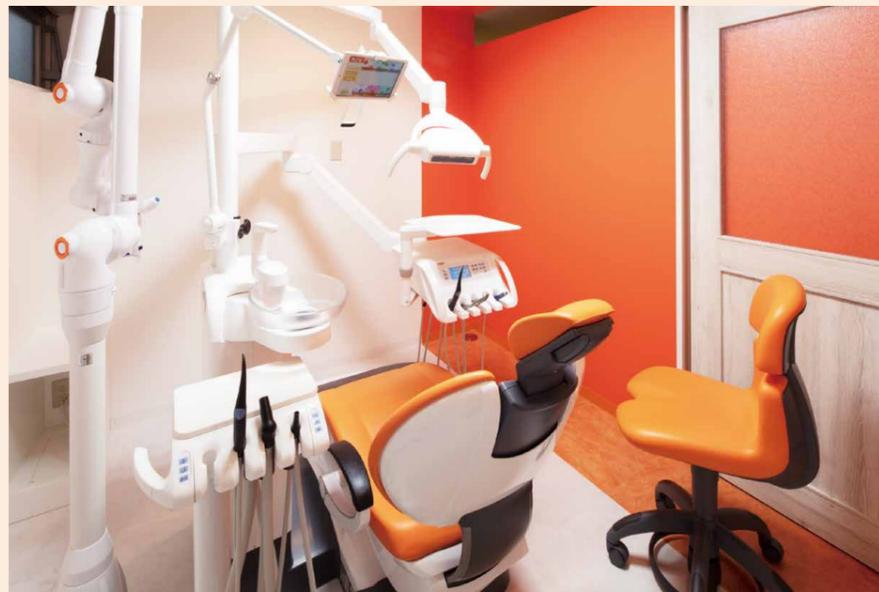
1.診療室はすべて個室。トリートメントセンターにタブレット型のモニターを設置し、治療中は子ども向けの動画などを流しているという。2.鳥谷先生が好きなオレンジ色を基調とした4番の個室。主にこの診療室を使用している。3.廊下の突き当たりの壁に配したグリーンが、空間を引き締めている。4.子どもが使いやすいよう、低めの洗面台も設置。治療後の口腔内を確認できるように、子どもの目線に合わせて鏡を掛けた。5.患者さんに人気のキッズスペース。治療を終えた子どもには、シールや風船をプレゼントしている。

### 大人になった子どもたちから「ありがとう」と言われたい

JR 総武本線「平井駅」から徒歩5分。地元の人々で賑わう商店街の一角に、「くすの木こども歯科クリニック」はある。専門は小児歯科と予防歯科。鳥谷迅先生は患者さんにとっての「歯の学校」にしたいと考え、口腔内の健康維持のための正しい知識を提供するとともに、子どもの年齢に応じた診療を行っている。「目指すのは、カリエスフリーの子どもを増やすこと。いま診ている子たちが30歳くらいになったとき、『小さいときに口の中について学べたおかげで、まだ一度も歯を削ったことがないんだよ。先生、ありがとう』と言ってもらえるような仕事をしたいんです。

研修医時代にお世話になった外村誠先生(故人)は「歯だけを診るな」と仰っていました。そして「小児歯科は子どもの人生に大きく関われるよ」とも。僕は患者さんの子どもであっても、挨拶をしない子には注意をするんですね。やっぱりどこでも挨拶ができる子に育ててほしいじゃないですか。そんなふうには小児歯科医は口腔内だけでなく、子どもをきちんとした方向へ導いていける。外村先生からは大切なことをたくさん教わりました。

また予防歯科の権威である熊谷崇先生のお考えにも非常に感銘を受けていて、突き詰めると、歯を守るためには子どもの頃から教育をするしかないんですよ」4歳以上になれば、しっかり会話ができる。初めは泣いていた子どももコミュニ



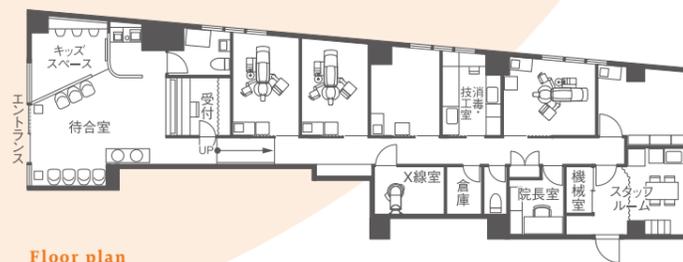
ケーションを重ねるうちに、治療がスムーズに進められるという。鳥谷先生は頑張った子を必ず褒める。保護者にも「ご家庭でも褒めてあげてください」と伝え、治療の恐怖心を払拭していくのだ。同時に、クリニックに対して冷たい印象を抱かせぬよう、インテリアにはポップな色彩を随所に採用。ナチュラルな古木調の壁や、ストライプのオーニングを配した受付など、待合室には西海岸のムードが漂っている。デンツブライシロナのトリートメントセンターと壁紙の色を揃えた診療室は個室ごとにテーマカラーが異なるため、「今日は何色かな?」と楽しみにする患者さんも多いとか。柔らかな肌触りのラグが敷かれたキッズスペースは憩いの場となっており、会計後も遊び続ける子どもや、付き添いの保

護者がうたた寝をしている光景も、決して珍しくないのだと鳥谷先生は笑う。歯科医院は怖い場所ではなく、口腔内を快適にしてくれる場所。その本質が伝わる信頼関係を、患者さんと構築できているからこそそのエピソードといえよう。「口腔内細菌検査を推奨し、それぞれの口腔内に適した治療やメンテナンス方法を考え、実践していきます。裕福な家庭に生まれようが、そうでなかろうが、いい医療は平等に提供されるべきなんです。意識さえあれば、一度も歯を削ったことのない健康的な口腔内でいられるはず。当院では80歳になっても28本の永久歯すべてを残そうという、8020運動ならぬ「8028運動」を掲げています。まずは虫歯の少ない地域として、江戸川区平井の名を広めていくのが目標ですね」



### くすの木こども歯科クリニック

Add: 東京都江戸川区平井2-24-15 フレア平井1F  
Tel: 03-5858-8778  
Web: www.kusunoki-kids-dc.jp



Floor plan

### Dentist



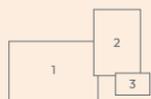
院長 鳥谷 迅 先生

2005年松本歯科大学歯学部卒業、同年松本歯科大学小児歯科学講座入局。その後、長野県、神奈川県、東京都の歯科医院にて勤務し、2016年「くすの木こども歯科クリニック」を開業。日本小児歯科学会、日本口腔衛生学会に所属。

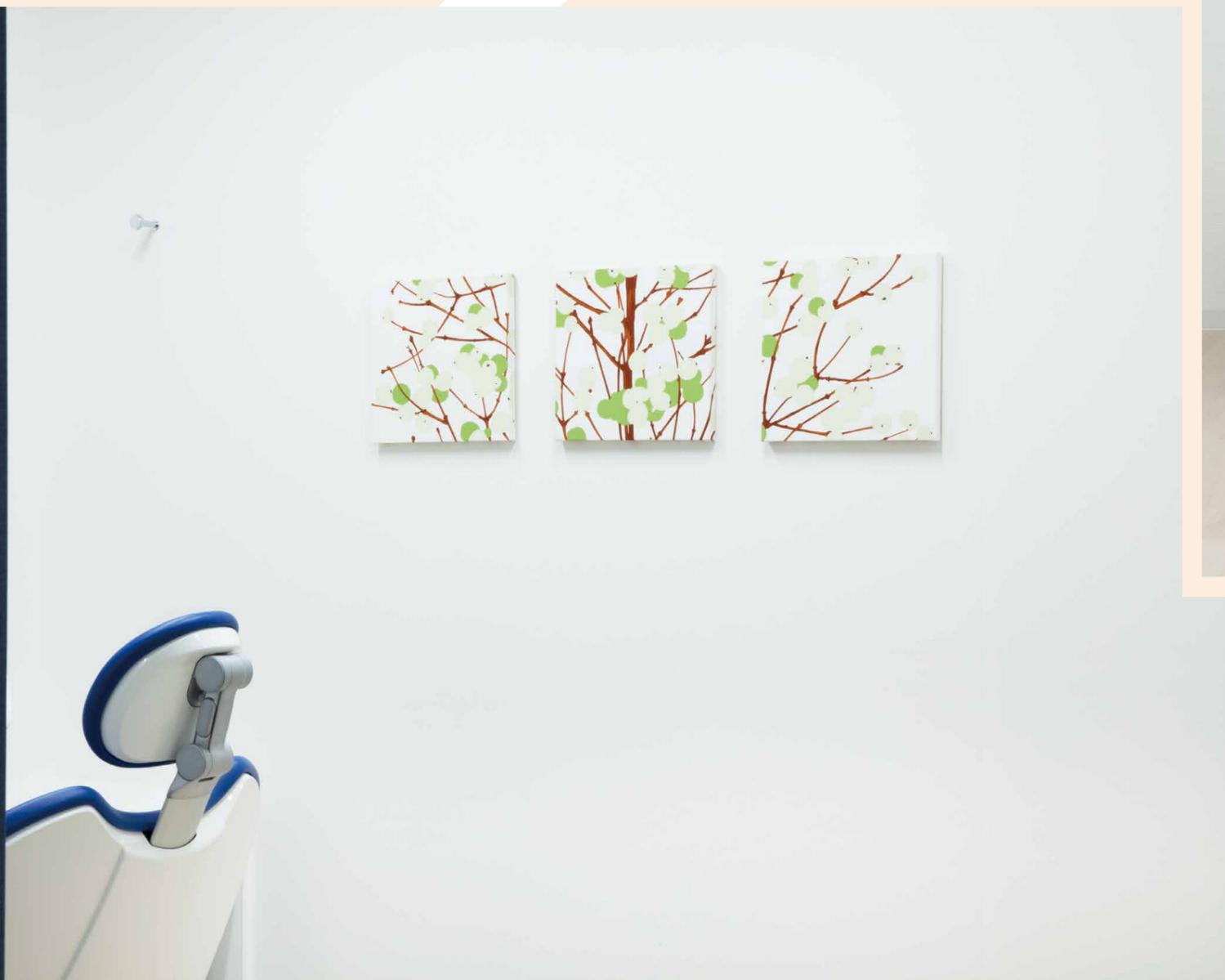
CHEERFUL PATTERNS #3

全身の健康状態を踏まえ  
生涯にわたる口腔内の健康をサポート

かしわお歯科クリニック  
北海道札幌市



1.現在、診療室の数は半個室と個室の計3部屋。ユニットを増設できるよう、開業前の設計段階からスペースは確保している。半個室はブルーがアクセントカラー。白い空間にトリートメントセンターが映える。2.個室は待合室と同様に暖色系でまとめている。家具や北欧テイストのファブリックパネルは柏尾先生が選んだ。3.待合室の椅子はゆったりとした一人掛け。



治療方針も空間づくりも、すべては理念の実現のために

「生涯を通じて食事や会話を楽しんでいただけるように、最良の歯科治療を提供することが、当院のコンセプトです」

柏尾啓太先生は口腔外科での臨床経験を積み、口腔・顎顔面領域におけるさまざまな症状に苦しむ患者さんを診療してきた。その中で感じた思いが、自身の掲げる歯科理念に繋がっているという。

「多様な要因によって口腔機能が低下し、食事を満足に摂れない患者さんを目の当たりにしてきました。食事ができなくなると、全身状態も悪化していく。寿命が短くなっても、胃ろうではなく口で食べられる方を選択される患者さんも多かったんです。僕はそういった方々をサポートしたい。人生の最期の時まで、食べたいものを食べられる口腔内の状態を保つお手伝いをしたいと考えました」

治療やメンテナンスと同時に、若年層・中年層の患者さんには歯の健康に対する意識付けを行っていく。早いにこし

たことはないが、高齢層の患者さんでも「手遅れはない」と柏尾先生は胸を張る。

「治療を開始する前と後との変化を感じていらっしゃる患者さんは多いですね。『格段にものが食べられるようになりました』とか、『肺炎が起きなくなりました』とか、喜びの声を頂戴できるのは歯科医師として非常に嬉しい。口腔内の状態が改善されれば、嚥下機能も改善します。患者さんの全身状態を考慮し、噛み合わせをよくする。こういったプラスの変化が表れる治療を心掛けています」

開業前の1年間、柏尾先生は4つのクリニックで非常勤ドクターとして勤務した。それは自らが思い描く理想の歯科医院を、現実のものとするためであったとか。

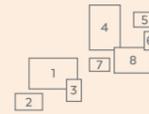
「研修医時代、20カ所以上のクリニックでアルバイトをしたんです。歯科医院の数だけ、内装も設備もドクターの技術も違います。そこで改めて『デンツプライシロナのトリートメントセンターを導入している歯科医院』、『先進の設備を取り揃え、医師が高い技術を持ち、多くの歯科衛生士が勤務する歯科医院』、『往診を

行っている歯科医院』、『依頼予定の設計事務所が手掛けた歯科医院』と、開業前に参考にしたい要素を備えたところで働かせてもらうことにしたんですよ」

加えて柏尾先生は新規開院のタイミングで分院長を務めた歯科医院の設計にも携わっていたため、空間づくりは実質2回目。これらの経験は、かしわお歯科クリニックの随所に反映されている。

「消毒・滅菌室の出入り口は2カ所つくって人がすれ違える広さを確保、レセコンの場所からカルテを受付に流せる小窓の設置、使用頻度の高いユニットとレントゲン室の距離は近くするなど、レイアウトは働きやすさを意識しました。個室にはキッズスペースを併設し、付き添いが必要な患者さんにも対応できるゆとりをもたせています。患者さんのニーズに応えられるよう、半個室の診療室も。外から見えるガラス張りの待合室は暖色系の色調の、明るい雰囲気です」

地域に根ざし、生涯を見据えた歯科医療を提供する。柏尾先生の挑戦は、まだまだ始まったばかりだ。



1. クリニックがあるのは大通りに面したガラス張りのテナントビル1F。待合室は外から見て安心感を感じてもらえるインテリアにしたという。2. 広々とした個室。勤務医時代に聞いた「個室にキッズスペースがあると助かる」という患者さんからの声が参考になっている。3. 待合室にあるキッズスペース。4. 無機質な空間にならぬよう、白一色でなく、青色の壁紙を採用したレントゲン室。5. 受付の壁にはポストのような小窓があり、ここがレセコンに通じている。これによりカルテを運ぶために受付まで回り込む必要がなくなる。6. トリートメントセンターのシートカラーはサファイア。7. 空間に馴染むレストルームのサイン。8. クールな印象の半個室の診療室。



### かしわお歯科クリニック

Add: 北海道札幌市白石区  
南郷通19丁目南3-25  
Tel: 011-867-6480  
Web: www.kashiwao-dental-clinic.com



Floor plan

### Dentist



院長 柏尾啓太 先生

北海道大学歯学部臨床大学院卒業、博士号取得。2013年より「厚別ウエスト歯科」院長、医療法人社団一心会の理事を務める。17年12月「かしわお歯科クリニック」を開業。日本口腔外科学会口腔外科認定医。



# EMBELLISHED ELEGANCE

— 優美なしつらい —

アクセントとなるのは、豪華でグラマラスな装飾の数々。  
 落ち着きと優美さを併せもち、上質な時が流れている。



FRESH GREEN



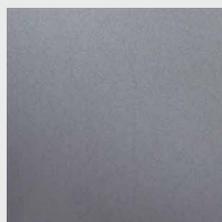
METALLIC BEIGE



LAVENDER



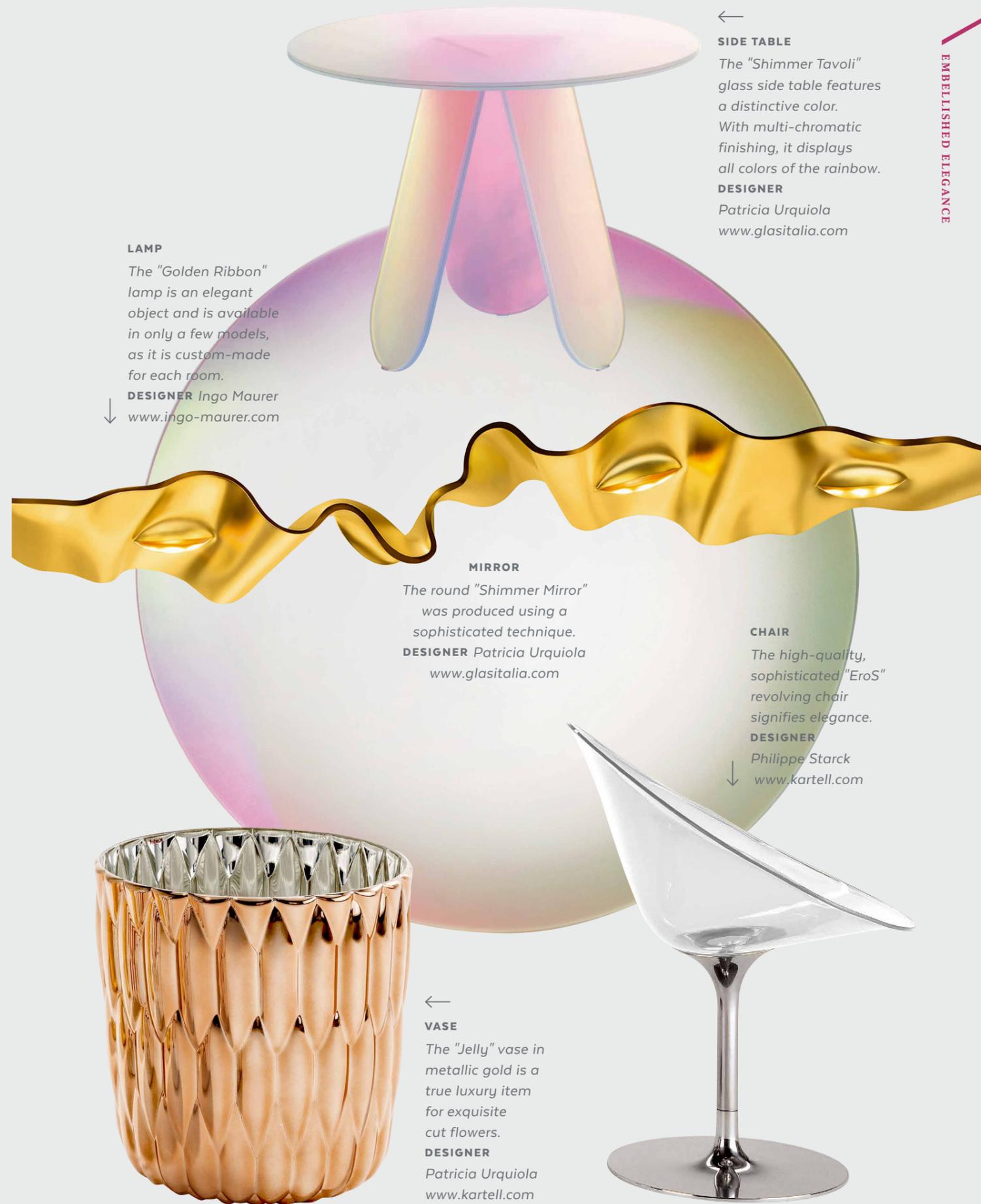
CHROME



PLATINUM SILVER



CARBON



←  
SIDE TABLE

The "Shimmer Tavoli" glass side table features a distinctive color. With multi-chromatic finishing, it displays all colors of the rainbow.

**DESIGNER**  
 Patricia Urquiola  
[www.glasitalia.com](http://www.glasitalia.com)

LAMP

The "Golden Ribbon" lamp is an elegant object and is available in only a few models, as it is custom-made for each room.

**DESIGNER** Ingo Maurer  
[www.ingo-maurer.com](http://www.ingo-maurer.com)

MIRROR

The round "Shimmer Mirror" was produced using a sophisticated technique.

**DESIGNER** Patricia Urquiola  
[www.glasitalia.com](http://www.glasitalia.com)

CHAIR

The high-quality, sophisticated "EroS" revolving chair signifies elegance.

**DESIGNER**  
 Philippe Starck  
[www.kartell.com](http://www.kartell.com)

←

VASE

The "Jelly" vase in metallic gold is a true luxury item for exquisite cut flowers.

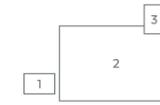
**DESIGNER**  
 Patricia Urquiola  
[www.kartell.com](http://www.kartell.com)

# M DENTAL OFFICE HIROSHIMA

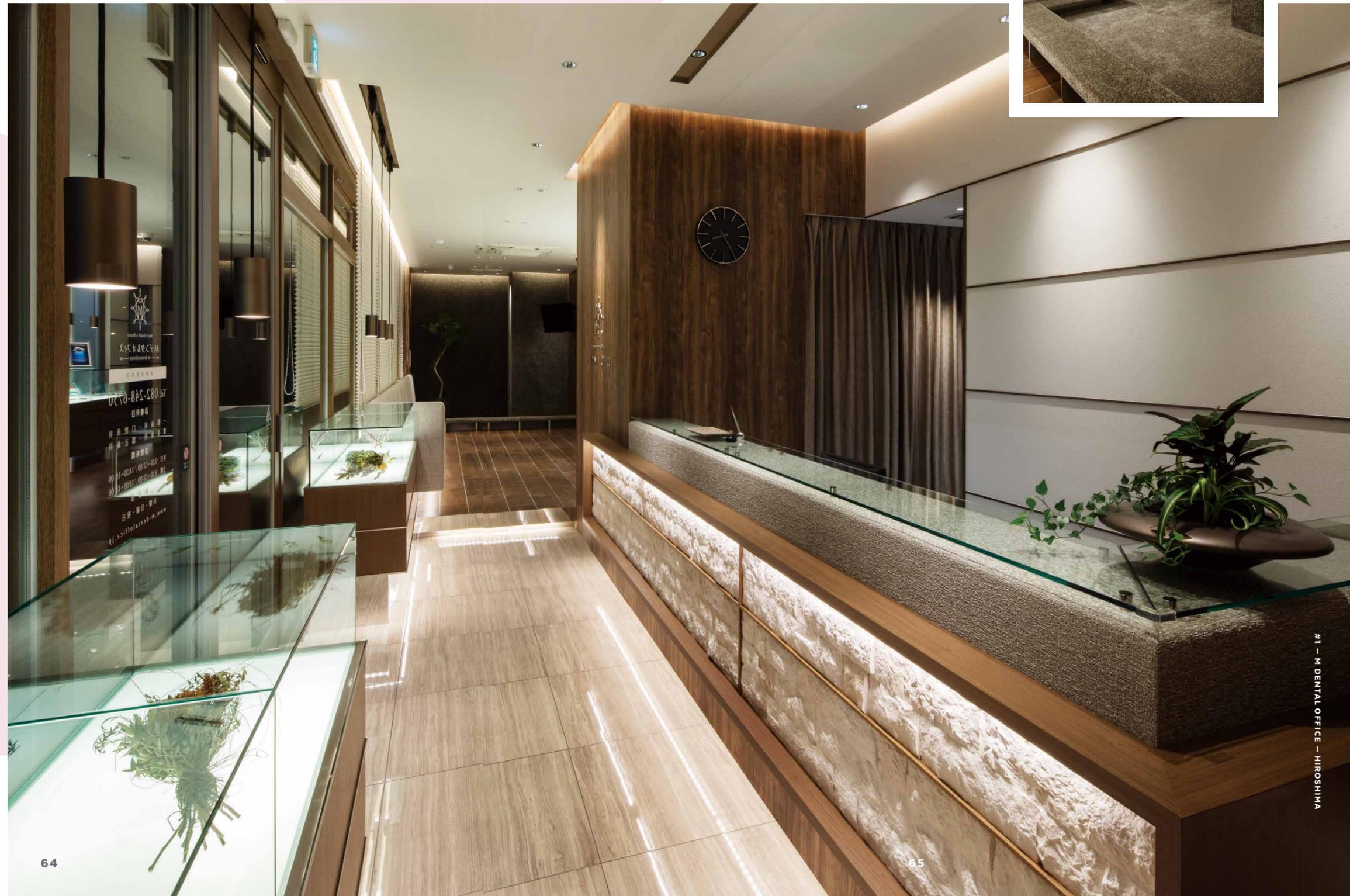
## EMBELLISHED ELEGANCE #1

健康な口腔内を保つために  
治療内容を共有する患者参加型の治療

M デンタル オフィス  
広島県広島市



1. 大白歯をモチーフに、三口先生のイニシャルである「M」の文字が入ったロゴマーク。下には「More Health & Beauty」の文字が。2. ラグジュアリーホテルのフロントのような受付。一目見てここが歯科医院だと分かる人は少ないだろう。3. 待合室の奥はキッズスペースとして確保している。



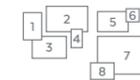


### 多様な診療形態に身を置き 辿り着いた歯科理念

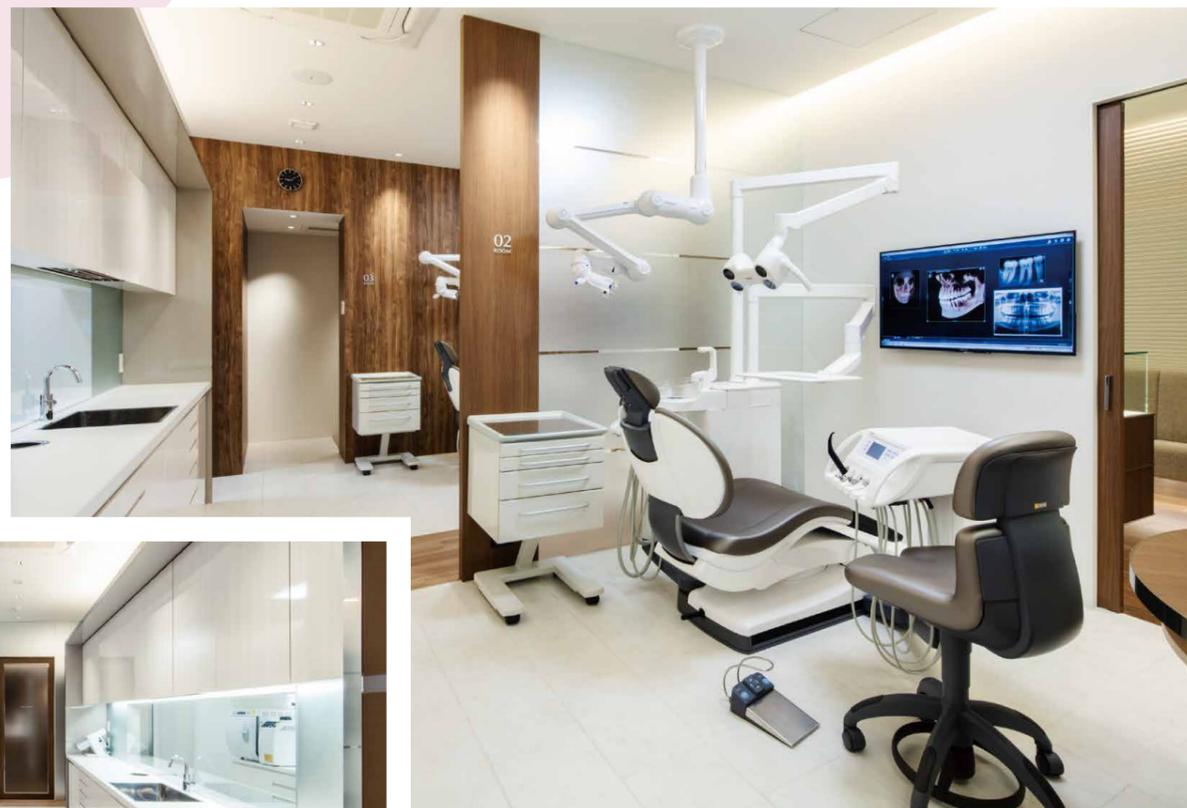
「まずご自身の口腔内に関心をもってもらいたいですよ。患者さんに『自分のことなんだ』という意識を高めてほしい。治療に参加していただきたいんです」  
真摯な眼差しで、三口道義先生は言葉を紡ぐ。心掛けているのは、患者参加型の治療。歯科医師や歯科衛生士からの提案を受動的な姿勢で受け入れるのではなく、患者さん自らが意思をもち、能動的に関わってほしいと考えている。  
「口腔内の疾患の多くは生活習慣病に起因しています。僕たちだけが力を尽くしても、一時的な結果しか得ることができません。長期的に健康な口腔内を保つためには、患者さんご自身による日々のプラークコントロールが必要不可欠なんです。当院では綿密なカウンセリングと検査を行った上で、治療計画や内容、状況を逐一共有し、治療を進めていきます。初診時には検査結果の冊子を作成してお渡ししているんですよ」

三口先生は大学卒業後、全顎治療を基本とした自由診療専門の歯科医院、保険診療中心の歯科医院、タイやフィリピンでのボランティア活動など、さまざまな診療形態で歯科医療に取り組んできた。着実に積み重ねてきた濃密な経験と技術力。それらは「M デンタル オフィス」のインテリアや設備にも現れている。  
「自分が開業するのなら、患者さんのどんな要望にも対応できる歯科医院にしたかったんです。自由診療に特化せず、保険診療を取り入れているのはそのため。医院のコンセプトを具現化するには、用途ごとにユニットが4台必要でした。診療用に1台、歯周治療用に1台、特別診療室に1台、そして歯科衛生士に任せるメンテナンス中心のケアルームに1台。当分の間は増設を視野に入れていないので、それぞれの診療室がゆったりした広さとなる設計をお願いしたんです」  
消毒・滅菌室は院内のほぼ中央に配置し、診療室から全面見渡せるガラス張り。清潔な器具管理を実現している自信がなければ、できないことであろう。

「当院の決意の表れなんです。消毒・滅菌室は、いわば歯科医院の舞台裏。そこをいかに綺麗に保ち、消毒・滅菌を高いレベルで行っているかを、きちんとお見せしたかったんですよ」  
治療スペースと予防スペースの動線を分けているのも特徴的だ。メンテナンスで来院した患者さんは診療室の前を通らずに、専用の廊下でケアルームへ向かう。  
「ケアルームでは、基本的に治療は行いません。メンテナンスを“快適なもの”として捉えていただけるエステサロンのような在り方をイメージしているので、あえて治療で来院された患者さんと動線が交わらないようにしました」  
エレガントでありながら、温かみのある空間。ウォールナット調の壁面は重厚感を醸し、ガラス、大理石、ミラーといった建材が上質さを付加させている。患者さんも「綺麗で、清潔で、落ち着ける」と口を揃えるという。しかし最も多いのは「こんなに親身になってもらったのは初めて」との声。三口先生の思いはしっかりと患者さんへ届いているようだ。

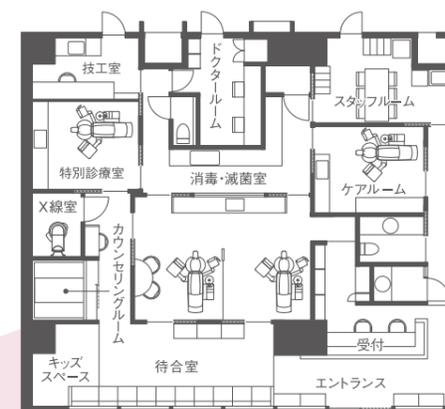


1.高級感溢れるレストルーム。2.ケアルームへ続く廊下。3.特別診療室のユニットシートにはラウンジシートを採用。4.ケアルームはまるでリラクゼーションサロンのようである。5.カウンセリングルームはソファのボックスタイプ。患者さんはリラックスした気持ちで、治療計画や治療内容を共有していただけるはずだ。「初診時の問診票に保険診療を希望されると記載があっても、選択肢のひとつとして自費診療のご説明を行います。それぞれのメリットとデメリットをご説明してこそ、フェアだと考えているので」と三口先生。  
6.壁にはウォールナット調のクロスを中心に使用している。7.患者さんやスタッフの動線を意識した設計。8.診療室の後ろにあるのが、消毒・滅菌室。見えることでスタッフの衛生環境に対する意識が高まっているという。



### M デンタル オフィス

Add : 広島県広島市中区竹屋町 4-12  
ピリオネア S 竹屋 1F  
Tel : 082-248-6750  
Web : www.m-dentaloffice.jp



Floor plan  
設計事務所：オジデザインワークス

### Dentist

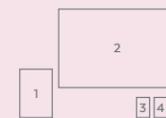
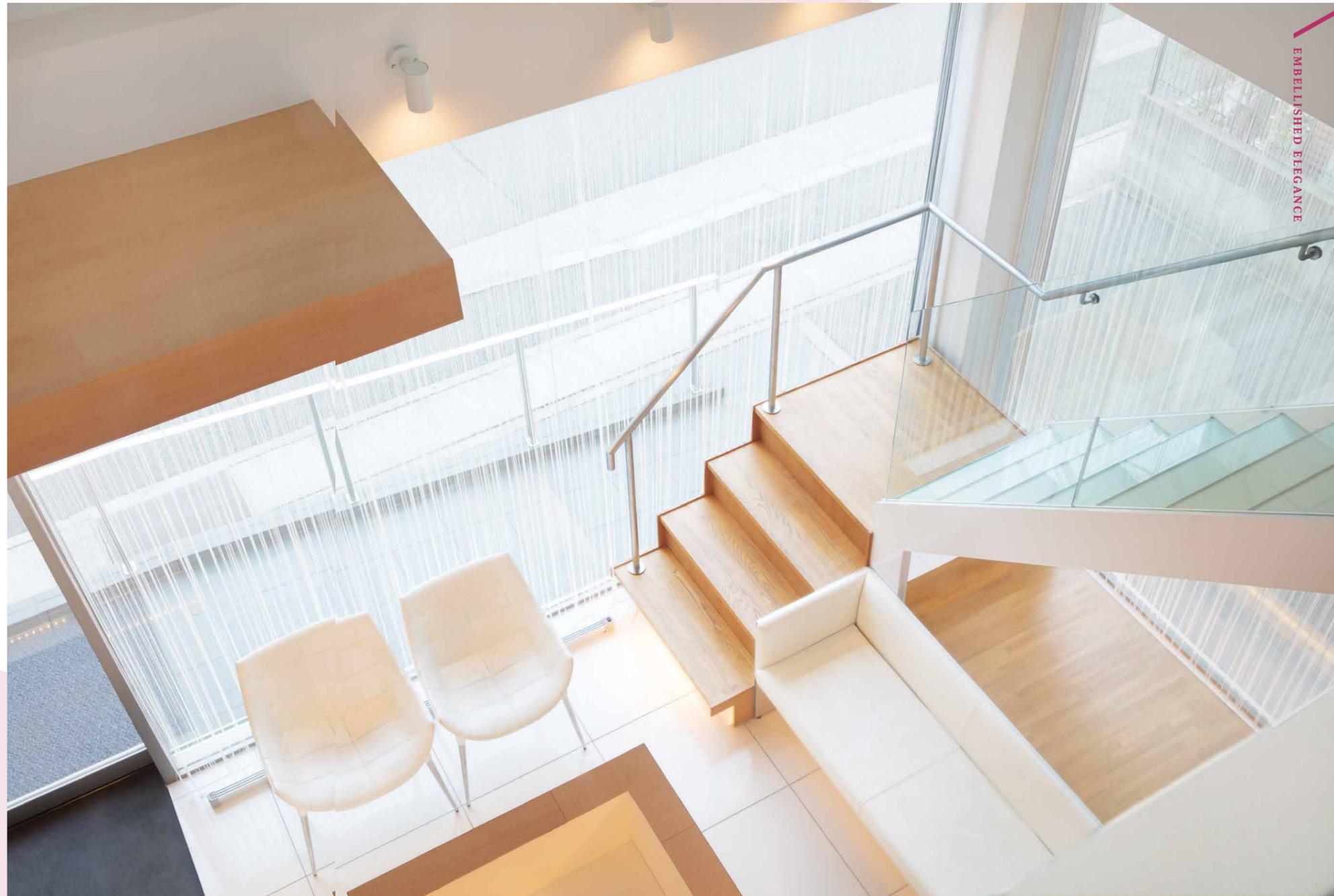


院長 三口道義 先生  
北海道医療大学歯学部卒業後、日本大学歯学部付属河台病院にて勤務。以降、東京都千代田区3軒、千葉県千葉市1軒、埼玉県熊谷市1軒の歯科医院で臨床経験を積み、2017年「M デンタル オフィス」を開院した。

EMBELLISHED ELEGANCE #2

サロンのような空間で  
施す治療が  
輝ける表情へ導いていく

うらら歯科医院  
兵庫県神戸市



1.鮮やかなトリートメントセンターのグリーンが、空間に映えている。  
2.特別診療室のある2階から見下ろした待合室。階段の下にある木目のエリアはキッズスペースになっており、子どもの目線の高さに合わせたテレビが掛けられている。3.大同先生がお気に入りだという特別診療室の壁紙。優美な印象を与えるグラフィカルなパターンだ。4.廊下に飾られたカサブランカ。



患者さんがくつろげる  
環境を整える

まるでサロンのような空間である。吹き抜けのある待合室から2階へ続く階段はヨーロッパの宮殿を彷彿とさせ、モダンファニチャーのリーディングブランドCassinaの真っ白なチェアが優雅な雰囲気を演出。芳香を放つカサブランカの佇まいは、「うらら歯科医院」の象徴であるかのようだ。

「エステや美容院に行った後のような、晴れやかな気分になっていただけるクリニックでありたいと考えています。女性の患者さんが多いので、白と明るめの木目を中心とした色使い、プライバシー保護に配慮したすべての診療室の個室化、ガラス素材の多用など、上質さが漂う内装づくりを意識しました。カウンセリングルームを併設した2階の特別診療室では、より一層リラックスして治療を受けていただけたらと思います。

美しい歯と健康な口腔内は、表情を豊かにし、日々の生活に輝きをもたらしま

す。美味しいものを心から美味しいと感じ、幸せを感じたときにとびきりの笑顔になれる。そのような状態を保っていたために、治療のみならず定期的なメンテナンスを行うデンタルエステサロンとして、ご来院いただきたいのです」

大同麗先生は1999年に開業、2012年に現在の場所に新築移転をした。当初のオフィスがあったのはビルのテナント。マイクروسコープの導入に伴い動線に不都合が生じ、移転を決意したという。

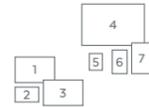
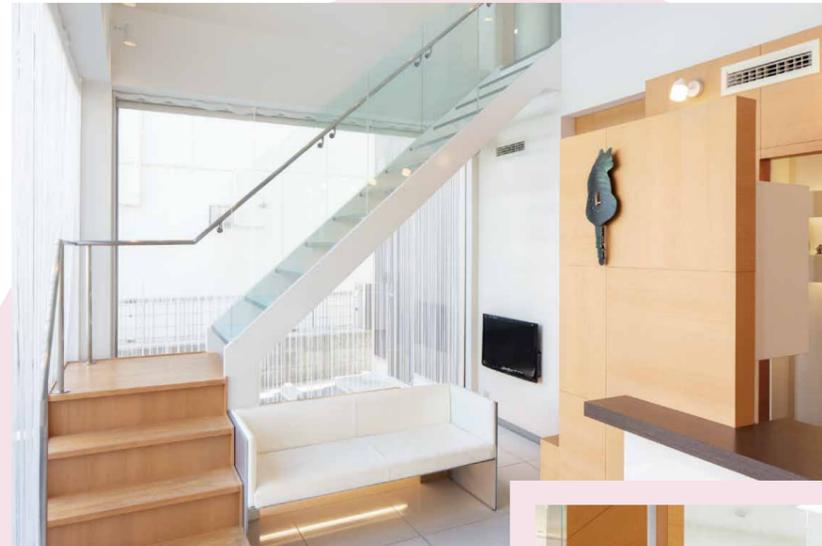
「より一人ひとりの患者さんと向き合った治療を提供できるようになりました。移転を機にデンツプライシロナのトリートメントセンターを1台増設したのですが、デザインも機能も、私が理想とする歯科医院にぴったり。やはり美しいものは、機能的にも優れていると思います。それは審美歯科の考えと重なり合う部分があるからです。

です。移転前から使用していた別のユニットを入れ替える時期には、迷わずデンツプライシロナのトリートメントセンターを選びました。加えてサービスの方が

信頼の置ける方であった、というのも理由のひとつ。導入以降もお付き合いが続いていくのですから、そういった方だと、こちらとしても安心です」

うらら歯科医院には、子どもの患者さんも多く訪れる。祖父、父ともに歯科医師という家庭で育った大同先生でも、幼少期は歯科医院に対して少なからず緊張感を抱いていたという。そんな自身の経験を踏まえ、痛みや恐怖心をできる限り排除した治療を進めているのだ。

「虫歯の治療をはじめ、歯の大切さを教える歯科指導も行っています。痛い思いをすることなく成長すれば、歯科医院にプラスのイメージを持つ大人になるはず。頑張った子にはスタッフ全員で褒めてあげ、来院を楽しんでもらえるように努めています。実は、これは大人の方にもいえること。勤務医時代、緊張されている患者さんが多数いらっしゃいました。当院では、患者さんのお気持ちを解きほぐし、ご納得いただける治療を提供したい。空間や設備へのこだわりは、そんな思いのもとに成り立っています」

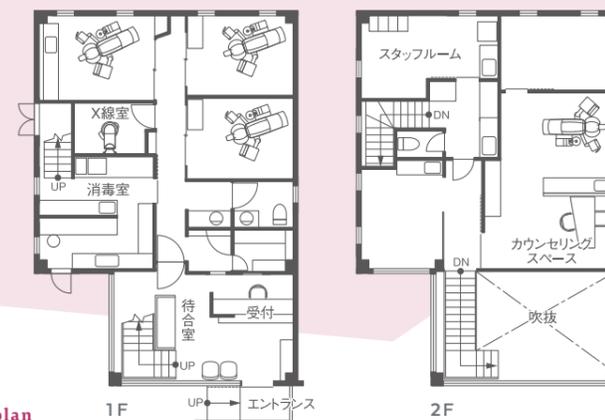


1. ゆったりと過ごせる待合室。2. カウンセリングスペースは特別診療室の隣に併設。造作した診療用キャビネットが、パーティションの役割も兼ねている。3. 入れ替えの際に導入したトリートメントセンターのカラーはプラチナ。4. 1階の廊下からの光景。5. 「最後の勤務先となったクリニックの院長が開業祝いに贈ってくれたフランスの画家Bernard Buffet氏の『4つの願いバラ』という絵画です。行き詰まったときにこの絵を見ては励まされていました」と大同先生。6. 後ろからのシルエットが大臼歯に見える。7. 美への探究心が旺盛な患者さんが多いという。



うらら歯科医院

Add : 兵庫県神戸市東灘区本庄町  
1-14-26  
Tel : 078-412-1221  
Web : www.urara-dc.com



Floor plan

1F エントランス

2F

Dentist

院長 大同麗先生  
1999年「うらら歯科医院」を開業、2012年に現在の場所へ移転する。主な診療科目は審美歯科、予防歯科、一般歯科、小児歯科。最良の治療の提供のため、スタディーグループに所属し、新しい技術と専門知識を常に吸収している。



## Interview

# 歯科医師にとって 重要なフィロソフィー

70歳前後まで診療を続けていくと考えると、歯科医師人生は非常に長い。年齢を重ねるごとに経験、知識、技術力は向上し、追求する歯科医療の実現に磨きがかかるのが理想であろう。しかし、そこへ至るにはさまざまな壁にぶつかるのもまた事実。松下至宏先生は、いかにして独自の歯学を導き出したのか。

## 松下至宏 先生

### 松下歯科医院

#### Profile

1979年愛知学院大学歯学部卒業後、2年間同大口腔外科教室研究生。82年「松下歯科医院」を開院。当時まだ日本では珍しかったインプラント治療をいち早く開始し、草分け的存在となった。96年に若い歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士らを対象とした日本初の総合的歯科治療セミナーを開催。2007年にスタディクラブ「MIMCD®」を発足させ、外来講師を招いての各種セミナーを数多く開催。同年、「松下歯科医院」を現在の場所に新築移転する。

※MIMCD (Matsushita Institute of Modern Clinical Dentistry) は、中部地区の歯科医師を中心とするスタディーグループ

#### 所属学会および認定資格

歯学博士  
日本口腔インプラント学会 専門医  
日本歯周病学会 専門医  
日本臨床歯周病学会 指導医・認定医  
日本顎咬合学会 認定医  
アメリカ口腔インプラント学会 アソシエイトフェロー  
国際顎顔面審美アカデミー フェロー  
日本審美歯科学会  
日本臨床歯科学会 (SJCD) 会員  
MIMCD (Matsushita Institute of Modern Clinical Dentistry) 代表

松下至宏先生が開業したのは1982年。28歳の時である。当初よりインプラント治療を取り入れ、歯科医師として40年近い臨床経験を重ねてきた。揺るぎなき信念、変化した理想の歯科医師像、構築された歯科医療における考え方など、ライフステージを上るに連れ、自らの哲学を確立してきたのだという。

#### ——開業された当時、どのような歯科医師を志していましたか？

“名医”と呼ばれる方がいますよね。国内外、さまざまな場に出向いていると、技術力を含めすべてにおいて突出した歯科医師に出会う機会が多いんですよ。私自身、歯科医師として歩み始めた頃は、もちろん名医を目指していました。しかし15年ほど経った時、彼らを名医とするならば、自分には難しいかもしれないと感じるようになっていたんです。

私が志すべきは“良医”。それに気付いた日から、患者さんにとっての良医であろうと決意しました。昔の私に「日本の歯科界で初めて何かを行った」といった名誉欲が、全くなかったかといえば嘘になります。だけどそれは自分のための診療になる。我々の仕事は本来、患者さんのために存在します。とすると、そのようなことを行っはならないんですよ。私が考える良医とは、患者さん中心の診療を行う歯科医師のことです。言葉にすると、陳腐に聞こえるかもしれませんが、でも突き詰めると、そうなるんですね。

臨床は車の両輪みたいなもの。技術や知識などのハードウェアと、患者さんへの接し方や診療室のシステム、スタッフなどのソフトウェアの両輪のバランスが、上手くとれていると好ましいんです。——患者さん中心の診療を行う上で、大切にされていることは？

患者さんの話をじっくり聞くことです。

治療内容、費用、期間など、患者さんの希望をお伺いし、それを叶えられる提案をしていく。全部がマッチするとは限らないので、自分が提案した治療を押し付けるのではなく、患者さんの要望と擦り合わせていくイメージですね。

「アメリカへ転勤になった。費用に上限は設けないので、早く治療を終えたい」という患者さんがいたとしましょう。口腔内の状態的に、ある程度の治療期間が必要だったとする。その場合、理由を説明した上で、「半分は先に治療をして、残りは帰国後に治療をしましょう」とか、私のネットワークを活用して「困ったらアメリカのこのクリニックへ行ってくださいね」とか、いろんな提案をするわけです。歯科医師5年目と現在とでは、患者さんへの提案に加え、あらゆるものが全然違うんですよ。見えている景色がまず違う。山登りと一緒に、麓では周囲の森の木しか見えなかったのに、山

## 「患者視点」を意識することの重要性

頂付近になると森の向こうにある湖や遠くの間々も望めるようになるんです。

「どうしたら自由診療を受け入れてくれるのか」、「患者さんのデンタルIQを引き上げたい」、このような悩みを抱える歯科医師は多いでしょうし、私も悩んできました。歯科雑誌などに掲載されている症例と自分の日常臨床を比較し、焦りを感じたりしてね。講演会や学会に参加しては、講師に教を乞うていましたよ。しかし核心を突いた回答は得られなかった。きっとそれは、どの歯科医師も知らず知らずのうちにできるようになっていたからだと思うんです。いまの私と同じように、ノウハウの出し惜しみではなくて、明確に定義するのは難しいんですよ。ただひとついえるのは、根底だけは絶対にブレず、粘り強く患者さんへ説明することを実践し続けてきたのが功を奏した気がしているんです。

私は1982年3月に開業し、インプラント治療も早々に始めました。その当時はインプラント治療などを患者さんへ提案しても、受け入れてくれるのは10人中一人といった時代。当たり前ですよ。CTどころかデジカメもありませんし、結果も分からない。ではなぜ10人中一人の患者さんが納得してくれたのか。おそらく基本的なデータを取り、そのデータを踏まえて地道に説明を繰り返してきたからではないかと感じています。それが自分の中で徐々にブラッシュアップされ、理想の歯科治療を実現する筋道を少しずつつくっていくことができました。特

効薬なんてないんです。自らの臨床経験をもとに、歯科医師が個々に紡ぎ出していかなければならないんですね。

語弊があるかもしれませんが、ある意味「いい歯科医師」は「詐欺師」に近いんです。詐欺師は信用させて逃げるけれど、いい歯科医師は信用させて結果を出す。言葉を巧みに用いてね。

——患者さんに信用していただくためには、「言葉」が重要となるのですね。

歯科医師はもっと言葉の重みを意識すべきなんですよ。治療をスムーズに進めていくには、専門的な歯科医学の話を患者さんに分かりやすく伝え、理解と了承を得る必要があります。きちんと説明ができれば、信頼関係が生まれ、医療効果もどんどん上がる。デジタル環境が整ったことで、写真やビデオで口腔内の状態

を見せながらの説明ができるようになりました。そうした現代においても、どんな言葉を選び、どんなトーンで話し、どのタイミングでどの写真や症例を見せるかといった考慮すべきポイントは数多くあります。目の前にいるのは、歯科医療従事者ではない。言葉を駆使する能力は、どれだけ技術が進歩しようと欠かせないんですね。

患者さんは歯科医療の素人であっても、世の中における経験は深い。ですからあらゆる質問に対する答えを綿密に準備し、用意しておかなければなりません。あたふたしていると見透かされてしまう。治療前の段階でその有り様の歯科医師に、身を預けようなんて誰も思いませんよね。

「説明が苦手」という歯科医師は、もっ

と本を読んだ方がいい。あとはニュースキャスターが話すスピードを参考にするのもおすすめです。会話の速度や語彙は、相手によって変えた方がいいでしょう。小児や高齢の患者さんは、話し方がゆっくりで、早いスピードで話されるとすんなり聞き取れない。つまり全員に同じスピードで話しては、いくらビジュアルを用いても相手には伝わりにくいんです。

——いかなる時も、患者さんの立場になって考えるということでしょうか。

「患者視点」を常に念頭に置いておくことはとても大事です。「松下歯科医院」では毎朝、歯科医師全員で清掃を行うのですが、私はその際、待合室のソファに座り、患者さんの目線になって周囲を見渡すんですね。すると普段気付かなかっ

た壁や床の汚れを見つけたりする。診療室を清潔に保つのは極めて重要です。清潔さは医療の本質。診療室の内装まで予算が回らなくなると、建物が古くたって、清潔な空間は維持できます。

その代わり設備には投資した方がいいでしょうね。新・三種の神器と呼ばれるマイクロスコープ、CAD/CAM、CTはどれも外せません。それらを有効活用できるテクニックをもつことは、言わずもがなです。ユニットではさらに重要です。一人の患者さんと1時間きっちり向き合った仕事をするのなら、デンツプライシロナのトリートメントセンターが必要になるんです。エルゴノミックデザインのため、患者さんと術者がともに快適で、長時間の診療でも全く疲れない。LEDの無影灯やワイヤレスフットコントロー

ラーも、卓越した機能性に驚きますね。

ドイツのデンツプライシロナの工場へも足を運びましたが、改めて絶大な信頼を置くにふさわしいと再確認しました。各パーツを組み立てるフィッター、各領域の技術者、研磨専門のスタッフなど、よき分業がなされており、各々が責任をもった仕事をしている。その真髄は製品に体现されていますよね。

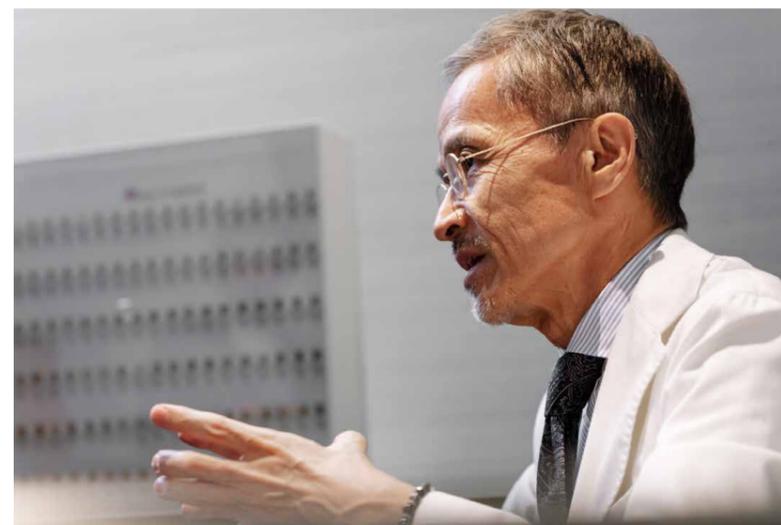
——最後に、新規開業、そしてリニューアルを予定されている歯科医師の方々へ向けて、メッセージをお願いします。

新規開業される先生は、実績がないことを理解した上で、真摯かつ謙虚に歩んでほしいですね。リニューアルされる先生は、実績と評価に自信をもち、自身の歯学を追い求めてください。どちらの場合の先生にもお伝えできるのは、診療のレベルを保つシステム、スタッフを指導するシステムなど、首尾よく機能する各種の「院内システム」を構築し、それに適した診療室のレイアウトを考えた方がいいこと。これらの調和が取れていると、診療が滞りなく進みますから。

特にリニューアルされる先生は、自分の診療に対する思いやこだわりが層強いと思います。そこには十分注力されるべきでしょう。我々、歯科医師にとって、設備選択にもこだわりがあって然るべき。約30年前から導入しているデンツプライシロナのトリートメントセンターは、私のこだわりのひとつでもあります。もはや自分にとってなくてはならないパートナーですよ。



愛知県大府市にある「松下歯科医院」。新築移転してから10年以上経つが、年月を感じさせないモダンな外観だ。地域のランドマークになり得る建物をイメージしたという。



## 革新的な歯科医療を実現するデンツプライ



### TENE0 Innovation class.

一般的名称：歯科用ユニット  
販売名：シロナ TENE0  
認証番号：224AABZ100105000  
管理医療機器  
特定保守管理医療機器  
設置管理医療機器

ダイナミックかつシンプルでありながら美しいフォルムを実現

- ・7インチ液晶タッチスクリーンやワイヤレスフットコントローラーなどの簡単・直感的操作
- ・患者さんの快適な受診のための多様な患者コンフォート機能を装備
- ・高品質な素材と厳しい品質保証基準を適用し、高いドイツ製品品質を確保



### SINIUS / SINIUS TS / SINIUS CS More efficiency.

効率的・直感的・コンパクト

- ・様々なビルトイン機能により診療ワークフローを効率化
- ・多様な機能・装備が直感的に操作でき、術者のストレスを低減
- ・設置スペースをとらないコンパクト設計



SINIUS TS  
With OTP support arm



SINIUS CS  
With whip arm

一般的名称：歯科用ユニット  
販売名：シロナ SINIUS  
認証番号：224AABZ100065000  
管理医療機器  
特定保守管理医療機器  
設置管理医療機器

## シロナのトリートメントセンター



### INTEGO pro Performance class.

一般的名称：歯科用ユニット  
販売名：シロナ INTEGOpro  
認証番号：228AABZ100067000  
管理医療機器  
特定保守管理医療機器  
設置管理医療機器

INTEGOの機能・装備をパワーアップ

- ・4.3インチ液晶タッチパネル「Easy Touch ユーザーインターフェース」
- ・サクシオン・排唾管ホース内部を自動的に洗浄する「サクシオンオートクリーンシステム」
- ・高級感あるガラス製スピットと自動給水機能（オートロック）を標準装備



### INTEGO Performance class.

価値というエッセンス

- ・SINIUS で実証済みの美しいデザインを継承し、診療ワークフローと快適性を両立
- ・高品質な素材を使用し、高い品質保証基準が適用されるドイツの工場で作製
- ・エントリーモデルとしての経済性と高い機能・装備を両立

一般的名称：歯科用ユニット  
販売名：シロナ INTEGO  
認証番号：226AABZ100151000  
管理医療機器  
特定保守管理医療機器  
設置管理医療機器



### HUGO Ergonomics expert.

- ・ドクターの正しい診療姿勢をサポートし、健康維持に貢献するツール

多くのデザインアワードを受賞

トリートメントセンターは「iF DESIGN AWARD」や「red dot design award」など、世界的に権威あるデザインアワードを多数受賞している。



# Branches and sales offices located in Japan

## デンツプライシロナ日本国内拠点

日本各地に点在する支店と営業所では、  
デンツプライシロナ製品の展示や紹介を行っている。



### 東京支店・銀座ショールーム

Add: 東京都中央区銀座 8-21-1  
住友不動産汐留浜離宮ビル5F  
Tel: 03-5148-7895  
Fax: 03-5148-7820  
Email: Japan-Info@dentsplysirona.com

### 札幌支店

Add: 北海道札幌市北区北八条西3-32  
8・3 プラザ 201号室  
Tel: 011-709-5800  
Fax: 011-709-5810

### 庄内営業所

Add: 山形県鶴岡市朝陽町10-26  
東新第一ビル 101号室  
Tel: 0235-29-1217  
Fax: 0235-29-1340

### 盛岡営業所

Add: 岩手県盛岡市中央通 2-2-5  
L.Biz 盛岡 1F  
Tel: 019-604-2340  
Fax: 019-604-2341

### 仙台支店

Add: 宮城県仙台市青葉区花京院 2-1-65  
花京院 プラザ 2F  
Tel: 022-266-4020  
Fax: 022-266-4030

### 埼玉営業所

Add: 埼玉県さいたま市中央区上落合1-11-15  
アスク新都心ビル 4F  
Tel: 048-799-2931  
Fax: 048-799-2937

### 横浜支店

Add: 神奈川県横浜市神奈川区金港町3-1  
コンカード横浜 4F  
Tel: 045-440-1521  
Fax: 045-440-1522

### 静岡営業所

Add: 静岡県静岡市葵区栄町2-10  
1192ビル 1F  
Tel: 054-653-2711  
Fax: 054-653-2712

### 名古屋支店

Add: 愛知県名古屋市中区栄5-28-19  
アルティメイトタワー栄V 4F  
Tel: 052-251-8467  
Fax: 052-251-8466

### 大阪支店

Add: 大阪府大阪市中央区北久宝寺町  
3-5-12  
御堂筋本町アーバンビル 7F  
Tel: 06-6243-6636  
Fax: 06-6243-6637

### 広島支店

Add: 広島県広島市中区立町2-25  
IG石田学園ビル 10F  
Tel: 082-546-2301  
Fax: 082-546-2302

### 福岡支店

Add: 福岡県福岡市中央区天神4-6-7  
天神クリスタルビル 12F  
Tel: 092-518-1800  
Fax: 092-518-1801

**DSIGN**  
Inspirations JAPAN

デンツプライシロナ株式会社  
〒106-0041  
東京都港区麻布台1-8-10 麻布偕成ビル  
Tel: 03-5114-1001  
Fax: 03-5114-1041  
www.dentsplysirona.com

Dentsply  
Sirona

※著作権法により無断転載、複製は禁止されています。

